

平成29年度

みなかみ町教育委員会点検・評価報告書

(平成28年度事業対象)

平成29年12月

みなかみ町教育委員会

目 次

1. 点検・評価の概要	1
2. みなかみ町の教育行政方針	3
3. 教育委員会会議・教育委員の活動状況	11
4. 教育委員会各事業	
総務・学校グループ	19
生涯学習推進室	33
5. 学識経験者の意見等	55

1. 点検・評価の概要

1 はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会はその権限に属する事務の管理及び執行状況について、学識経験者の知見を活用して点検と評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表することが義務づけられました。

そこで、みなかみ町教育委員会では効果的な教育行政の推進に資するとともに、町民に対する説明責任を果たすことを目的として、同法の規定に基づいて実施した点検と評価の結果をまとめました。

この報告書は、教育委員会の活動について年度内の重要な施策事業について点検と評価を行うものであります。

みなかみ町教育委員会は点検と評価の実施を通じて、施策の効果的な実施と改善を図り、教育施策の着実な推進に努めたいと考えますので、皆さんの一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成29年12月

みなかみ町教育委員会

地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

【教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等】

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第1項の規定により、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

2 点検・評価の対象事業

対象事業は平成28年度事業とし、総務・学校グループ、生涯学習推進室におけるそれぞれの重点項目事業とします。

3 点検評価の実施方法

教育委員会が行ってる事業についての取組状況が施策と成果の報告書によりまとめられています。報告書を基にして教育委員会会議・教育委員の活動状況も含めて教育に関し学識経験を有する外部の方々に意見をいただく。

4 外部評価者

学校教育関係 牧野 堯彦	元みなかみ町教育長
生涯学習関係 高橋 幹	元みなかみ町立月夜野中学校長

2. みなかみ町の教育行政方針

生きる喜びに満ちた心豊かな人々のまち

豊かな心と文化を育むまち

《基本理念》

みなかみ町教育委員会は、教育基本法の下に生涯学習の観点に立ち、児童・生徒及び住民一人一人が夢や誇りを持つとともに、学校教育や社会教育・文化・スポーツさらには地域の貴重な歴史的・文化的資源などを活かし、豊かな心・高い知性・健康な身体を培い、生きる喜びに満ちた次代を担う心豊かな人々の町づくりを目指して教育行政を推進する。

《基本方針》

みなかみ町教育委員会は、基本理念の具体的実現を図るため、次の基本方針に沿って諸施策の推進に努める。

I 学校教育 ----- 逞しく「生きる力」を育む教育 -----

1 学校教育の充実

学習指導要領に則り、「郷土みなかみを愛し、21世紀に生きる思いやりのある、強く逞しい児童・生徒」の育成を目指し、教育水準の向上や教育内容の充実を図り、逞しく「生きる力」を培うため、全教育活動を通じた学校教育の充実に努める。

2 教育環境の整備

学校教育の充実のため、小・中学校や教育施設の設備等の計画的な整備に努める。

II 生涯学習・文化・スポーツの振興 ----- 豊かなライフ・ステージ -----

3 生涯学習の推進

生きる喜びに満ち、心の豊かさと学ぶ意欲に溢れた生涯学習社会を目指し、生涯学習推進体制の充実や関係機関・各種団体と連携を図り、町民の学習ニーズや人生の各時期に応じた学習機会と場の提供に努める。

生涯学習社会に対応した多様な学習機会や施設・設備を整備するとともに、家庭や地域の教育機能の活性化を図るための諸施策の展開に努める。

4 文化財の保存と活用

町民の文化振興に関する意識を高め、誰もが楽しめる地域文化活動を促進し、文化財の保存・活用等に努める。

5 生涯スポーツの推進

町民の生きがいと健康増進のため、みなかみ町スポーツ推進計画に基づき、全町民の生涯スポーツを目ざし、軽スポーツの普及や地域に根ざしたスポーツ・競技スポーツの振興を図るとともに、施設・設備の整備に努める。

1 学校教育の充実

(1) 学力向上に向けた学習指導の充実

- ア 適切な教育課程の編成・着実な実施
- イ 基礎的・基本的学習内容の確かな定着
 - ・少人数指導、T・T等個に応じた指導ときめ細かな指導の充実
 - ・学力向上に向け、学力向上特配とコーディネーターの有効活用
 - ・ねらいや振り返り活動を明確にした学習過程の改善（教師の指導力の向上）
 - ・意欲を引き出す授業の充実（学習の仕方を学ぶ）
 - ・「判断力・思考力・表現力」の育成を意図した授業の充実
 - ・効果的なICT活用による授業の充実
 - ・意図的・計画的な家庭学習習慣の定着
- ウ 学力検査等を生かした授業の改善
 - ・学力標準検査・全国学力学習状況調査の結果の分析と改善策の策定
- エ ALTの活用による英語教育・外国語活動の充実（英語力の向上）
 - ・小中連携、英語活動・指導計画の検討（三国会）

(2) 教職員の資質の向上

① 教職員研修の充実

- ア 校内研修の内容及び方法の改善・充実
- イ 各種研修の充実（管理職研修、初任・3年目・5年目・10年目研修、へきセン等）
- ウ 個人の研究課題による研修（自己研修）の充実
- エ 年間一人一研究授業の実践 「はばたく群馬の指導プラン」の活用
- オ 三国会の研修の充実（小・中連携教育の推進・異校種間）

② 教職員の心身の健康管理

- ・職員室の環境づくり（共に学ぶ・支え合う職員）、メンタルヘルス

③ 教職員の服務規律の確保

- ・教育者としての使命と責任の自覚

(3) 心豊かな児童・生徒の育成

① 道徳教育の充実（心情面・実践面）

- ア 学習指導要領に基づく道徳教育の充実
 - ・道徳教育推進教師を中核にし、体験活動・諸行事等との関連を意図した指導の充実
- イ 人を思いやる心の教育の充実 … 人権教育・福祉教育との関連
 - ・あいさつ運動の徹底と拡大
 - ・ふるさと愛校心の育成 … 2ヶ月に1日（偶数月・第1金曜日）学校周辺の清掃、地域清掃奉仕活動、「ルールブック50」の活用
 - ・体験活動等を通じた学習（ボランティア、自然体験活動等）
- ウ 家庭との連携による徳性の涵養
 - ・家庭の協力による基本的生活習慣の確立

② 生徒指導の充実

ア 児童・生徒の安全・安心の確保

- ・通学路、登下校時の安全確保 … スクールバス等の安全運行
- ・交通安全、不審者、鳥獣等からの安全確保
- ・自然災害等からの安全確保
- ・食の安全 … 食物アレルギーへの対応
- ・地域における安全・安心協議会との連携

- イ 自己肯定感を育てる指導の実践（個性の伸長）
 - ・全教育活動（授業・部活動・諸行事・学級活動・生徒会活動等）
 - ・情報モラルの育成
 - ・いじめ防止のための教育活動
 - ・不登校児童・生徒の支援と未然防止（不登校ゼロを目指す）
- ウ 豊かで和やかな人間関係の醸成（児童・生徒間、児童・生徒と教師間、対保護者間）
 - ・あいさつ運動の展開 ・人権教育
- エ 教育相談の充実（カウンセラーの有効活用） 全小・中学校に配置
- オ 適応指導教室の充実（専門員の配置）
- カ 家庭・地域・関係諸機関・団体等との連携（健全育成・安全・安心の確保等）
- ③ 健康な身体を培う教育の推進
- ア 強い心と体力を培う学校体育の充実
 - ・体力向上プランの作成と実践
 - ・健康づくりへの意欲と安全意識の高揚に努める指導の充実
 - ・健康診断の実施と事後指導の充実
 - ・運動部活動、社会体育の活用と充実（中学校）
 - ・体力向上に向けた体育的行事の充実
- イ 体力・運動能力調査結果の効果的活用（肥満と裸眼視力の回復）
- ウ 放課後の活用・連携（放課後子ども教室等）
- エ 食育の推進による望ましい食習慣と健康
 - ・食育推進に関する実践協力調理場（新治給食センター指定）
 - ・お弁当の日の設定（年間2回）
- ④ キャリア教育の充実
- ア 小・中学校の連携によるキャリア教育の年間計画の作成と実践
 - ・職場訪問、職場体験、体験入学等の啓発的体験的活動の充実
 - ・地域の人材等の活用
- イ 各教科・道徳・特活と連携した指導の推進
- ウ 進路相談の計画的な実施
- エ 小学生の奄美交流学习、中学生の海外派遣学習
- オ 外部の教育力の導入と活用 …中学生議会など
- ⑤ 人権教育の推進
- ア 全体計画・指導計画の改善・充実と実践
- イ 全教育活動を通しての人権尊重の精神の育成
 - ・人権啓発活動の推進（人権週間、人権作文等）
 - ・「いじめを出さない」教育計画の検討と実践
 - ・生徒会・児童会等、児童生徒の主体的活躍の推進
- ⑥ 福祉・環境教育の充実
- ア 全教育活動を通して福祉・環境教育の推進
- イ 福祉・環境問題への具体的実践
 - ・ふるさと環境問題の把握と活動
 - ・あいさつ運動
 - ・ボランティア活動の推進（地域の花植え、老人ホーム慰問等）
- ウ 地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）
 - ・谷川岳エコツアーリズムの実践
- ⑦ 読書活動の推進
- ア 学校図書館の充実
 - ・蔵書量と読書人口の増加

イ 「読書のすすめ」の実践

- ・児童生徒の図書委員会の活動
- ・家庭における読書のすすめ

ウ 図書館司書教諭の積極的活用

(4) 特色ある学校づくり

① 学校経営の充実

ア 課題を明確にした、適切な教育課程の編成・実施・評価・改善

- ・教育内容、方法の多様化・弾力化

イ 校長の経営方針とリーダーシップ

- ・校長・教頭の指導力の向上と職員の協力体制の確立

ウ 地域に根ざした多様な教育活動の展開

- ・地域資源の教育的活用（人的・物的・自然等）
- ・家庭・地域との連携の強化 …… 故郷学習、環境教育、福祉教育等

(5) 小・中連携教育の推進

ア 小・中学校間、こども園・小学校間の円滑な接続（中一ギャップ、小一プロブレムの解消）

- ・行事、授業、体験活動等を活用した異校種間の児童・生徒の交流
- ・小学校高学年の教科担任制

・ALTを活用した英語教育・外国語活動の充実

- ・教員の異校種間交流の推進

- ・地区別推進委員会の充実

イ 9年間の教育課程の研究（道徳、算数・数学、英語、キャリア教育等）

ウ 特別支援教育の充実（小・中の連携）への有効化

(6) 特別支援教育の充実

ア 乳幼児から成人期までの支援システムの実践

- ・就学相談の充実（町教育支援委員会の充実）
- ・特別支援学級の指導の充実
- ・通常学級における指導の研究と改善
- ・支援員の充実

イ 通級指導教室の充実 3校で実施（桃野小・水上小・新治小）

ウ こども園・小・中の交流と連携の強化

エ 子育て健康課など地域関連機関との連携・推進

(7) 幼児教育の充実

ア こども園・小学校との交流

- ・特別支援教育の推進

イ 町教育支援委員会との連携

2 教育環境の整備

(1) 環境整備

ア 安全・安心の確保

- ・教育施設設備等の安全確保
- ・スクールバスの安全確保、通学路の安全確保（交通・不審者・鳥獣）
- ・校内生活での安心の確保
- ・食の安全確保…アレルギーへの対応
- ・地域との連携（安心・安全育成協議会の設立）

イ 防犯・防災など安全対策の充実

- ・防災計画および防災教育の見直し（火災、地震、山崩れ、水害等）
- ・危機管理能力の育成
- ・地域との連携

(2) 国際理解・交流学習の推進（広い視野をもった人間の育成）

- ・中学生：海外派遣事業への参加
- ・小学生：奄美笠利町との交流事業への参加
- ・藤原中と水上中との合同学習

(3) 教職員等の人的環境整備

- ア A L T の適切な配置（中学校英語教育、小学校英語活動、小・中連携教育）
- イ 特別支援教育支援員等の適切な配置

(4) 小・中学校適正配置の検討

- ・全地区小・中学校対象に「少子化に対応した活力ある学校づくり検討委員会」で協議

(5) 第2期教育振興基本計画の策定

II 豊かなスタディ・チャンス

27 生涯学習の推進

3 生涯学習の振興

(1) 生涯学習体制の整備・充実

- ① 「心豊かな町民」を目指す生涯学習の推進
 - ア 生涯学習推進のための各種企画の創意・工夫
 - ・講座、講習、現地研修、文化祭、講演会、諸大会等
 - イ 学習成果発表の場の提供
 - ・文化祭、生涯学習大会、報告会、優秀選手表彰式等
- ② 生涯学習関連施設の活用
 - ア 町公民館、図書室、カルチャーセンター、歴史民俗資料館等
 - イ 体育関連施設（社会体育、学校体育）等
- ③ 生涯学習指導者の育成・確保
 - ア 指導者、学習ボランティア、コーディネータ、シニアリーダー、団塊世代の活用
- ④ 生涯学習に関する諸情報の提供 学習啓発の推進
- ⑤ 各種施設や民間との広域的ネットワーク体制の構築

(2) 学習機会の拡充

- ① 各種町民教養講座、教室等の開催 町公民館、カルチャーセンター等
 - ア 受講生の層の拡大への工夫
 - イ 各種団体による講演会や講座の支援
 - ウ 自主グループの育成への支援と助言…子ども歌舞伎、太々神楽、ジュニアオーケストラ等
- ② 4 図書室の充実
 - ア 図書の充実
 - ・蔵書量の充実
 - ・町民のニーズへの対応
 - イ 読書推進活動
 - ・幅広い年齢層への対応
 - ・読書量、利用者の増大への工夫…お話し会の活動支援

- ウ 4室データベースの作成
- エ 広報活動
- オ 町内図書環境の充実 町図書検討委員会

4 社会教育の充実

(1) 社会教育諸条件の整備・充実

- ① 社会教育施設の利用促進
- ② 社会教育関係団体の育成・連携
 - ・子ども会育成会・婦人会・PTA連合・青少推・スポーツ少年団・老人クラブ・体育協会
 - ・文化協会等
- ③ 人権教育の充実… 子育て健康課・町民福祉課との連携
 - ア 人権学習 正しい認識形成と啓発
 - ・社会教育委員の研修・講演会・家庭教育学級での学習会
 - ・人権擁護委員会との連携・活動
 - イ 人権啓発活動
 - ・人権に関するポスターの募集・表彰
 - ・講演会（町民福祉課、子育て健康課と連携）
 - ・小中学校における人権週間（人権学習）

(2) 青少年教育の充実

- ① 青少年育成活動の充実
 - ア 子ども会の育成
 - イ 青少年育成指導者の育成 月夜野キッズセンター
- ② 青少年活動の充実
 - ア 学校外活動（青少年育成事業）の推進
 - ・放課後子ども教室・おもしろ科学教室・奄美市笠利町交流事業等
 - イ 地域行事参加による体験・交流
 - ・かるた大会・地域清掃活動・子ども会スポーツ大会・各地域行事・あいさつ運動
- ③ 子ども活動に関する諸事業の推進・充実
 - ・ガールスカウト・スポーツ少年団

3 子育て支援の充実

(3) 青少年健全育成

- ① 青少年健全育成団体相互の連携と協力 学社連携・融合の推進
 - ・みなかみ町健全育成会議の創設と諸活動
 - ・通学路等安全・安心確保のための地域協議会の創設と活動
 - ・あいさつ運動と地域環境の美化活動の展開
- ② 体験活動の推進
 - ・週末等における体験教室の推進（月夜野キッズセンターの体験教室、ものづくり教室）
- ③ 青少年健全育成活動の充実と非行防止
 - ・パトロール・啓発活動（ポスター・標語の配付）
- ④ 有害環境浄化活動の推進
 - ・ケータイ・ゲーム機に関する問題の取り組み
 - ・社会環境実態調査
 - ・児童生徒の問題行動の未然防止

(4) 家庭教育の充実

- ① 時期に応じた家庭教育の充実
 - ・子育て講座（就学時子育て講座・思春期子育て講座）

※ 町民福祉課子育てセミナー

- ・子育て支援 … 放課後子ども教室の充実、小学校子ども教室運営への支援
- ・基本的生活習慣の確立

② P T A活動の充実

- ・P T Aの連携活動（P T A連合）・共通課題の解決への努力

③ 自主活動への支援

- ・諸団体の活動 ・地域活動への参加

5 文化の振興

(1) 芸術文化活動の推進

27 生涯学習の推進

① 文化施設の充実

ア 公民館・カルチャーセンター等運営の充実

② 文化活動推進体制の充実

ア 文化振興事業の支援・発信

イ 町民とアーティストの交流による文化振興 劇団「風」との交流

ウ 文化活動に関する広報・啓発活動

③ 文化活動の促進

ア 各文化団体の活動計画の把握と促進

イ 地域文化の伝統継承の支援

ウ 後継者不足の課題解決への研究（文化団体、NPOの育成支援）

- ・伝統文化支援事業補助金の創設 活動機会の促進

エ 町文化祭への参加と充実

(2) 文化財保護と普及活動

29 文化財の保存と活用

① 郷土愛の育成と次世代への継承

② 指定文化財整備の充実と活用の促進

③ 文化財調査・保護の実施

- ・文化財調査委員会の活動の充実

- ・矢瀬遺跡の整備・活用と名胡桃城址の管理

④ 町内文化財の点検と文化財リストの作成

⑤ 文化財の展示施設等の検討と整備

⑥ 文化財を活かした学習の推進と郷土愛の醸成

- ・小・中学校の学習への利用促進 ガイドの会との連携

6 スポーツ活動の充実

28 生涯スポーツの推進

(1) 指導体制の充実

① みなかみ町スポーツ推進計画による生涯スポーツの推進

② 指導体制の充実

ア スポーツ推進委員の有効活用

- ・全町民生涯スポーツ推進のための計画的活動

イ 社会体育指導者の育成・活用

③ スポーツ団体等の育成と指導者の養成

- ・指導者研修会の開催、スポーツ少年母集団の研修会開催

④ スポーツ情報提供・相談体制の整備 体育協会による広報の発行

⑤ スポーツ施設・設備の整備・充実…社会体育施設の耐震化及び調査・研究

(2) スポーツ活動の充実

① 生涯スポーツ活動の振興

ア 町民体育祭を核とするスポーツ振興

イ 総合型地域スポーツクラブ（NPO法人みなかみスポーツクラブ）の育成・支援

ウ ニュースポーツ、軽スポーツの啓発・普及と活動…ノルディックウォーク・スポーツ吹矢

エ スポーツ企業との連携

② 競技スポーツの振興

ア 優秀選手・指導者の表彰

イ 各種選手強化対策の推進

ウ 競技スポーツの指導者の育成

エ 体育協会の活動の充実

☆体協5つのテーマ

- ┌ ・町民の体育振興に関する調査研究
- ├ ・体育に関する講習会・研修会の開催
- ├ ・各種競技大会・教室の開催
- ├ ・各種スポーツ競技団体の結成及び育成
- └ ・その他本会の目的達成に必要な事項に関すること

オ スポーツ企業との連携

3. 教育委員会会議・教育委員の 活動状況

1 教育委員会会議・教育委員の活動状況

●みなかみ町教育委員名簿

平成28年 4月 1日 現在

職名	氏名	委員就任日	役職就任日	任期
教育長	増田 郁夫	H27. 4. 1	H27. 4. 1	H30. 3.31
教育長職務代理者	根津 公安	H24.11.26	H27. 4. 1	H28.11.25
委員	利根川太郎	H25.11.26		H29.11.25
委員	鈴木 長善	H25.11.26		H29.11.25
委員	阿部 剛	H23.11.26		H30. 3.31

●平成28年度教育委員会会議(定例会・臨時会)の開催状況

教育委員会の会議は原則6月、9月、11月、3月の年4回開催される定例会と必要に応じ開催される臨時会があり、以下のとおり開催し審議されました。

(平成28年4月～平成29年3月まで)

開催日	区分	議案・報告等
(平成28年) 5月26日	定例会	議案第 1 号 平成28年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 報告第 1 号 みなかみ町月夜野総合グラウンドサッカー場整備工事請負変更契約の専決処分報告について (協 議) ①平成28年度みなかみ町教育行政方針について ②中学生海外派遣事業について ③奄美市笠利町との交流事業について
7月15日	臨時会	議案第 2 号 平成29年度使用教科用図書の採択について 議案第 3 号 平成28年度準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について 議案第 4 号 旧月夜野幼稚園園舎の普通財産への移行について
8月26日	定例会	議案第 5 号

		<p>平成28年度みなかみ町一般会計予算9月補正予算について</p> <p>議案第 6 号 平成28年度みなかみ町スクールバス購入契約の締結について</p> <p>議案第 7 号 平成28年度みなかみ町立月夜野中学校パソコン機器等購入契約の締結について</p> <p>(協議)</p> <p>①教育大綱の制定について ②夏季休業中の各校の様子(生徒指導等を含む)について ③運動会(体育祭)の予定と委員の配置について ④桃野小学校校庭フェンスの増設について ⑤第11回町民体育祭について ⑥奄美市笠利町との交流事業について ⑦中学生海外派遣事業について ⑧その他</p>
11月25日	定例会	<p>議案第 8 号 みなかみ町立学校職員の人事評価に係る苦情の申出に関する要綱の制定について</p> <p>議案第 9 号 準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について</p> <p>報告第 2 号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名について</p> <p>(協議)</p> <p>①「みなかみ町の実情に沿った公共図書施設のあるべき姿について」の提言について ②中学生議会について ③みなかみ源流大学について ④みなかみを知ろうプロジェクトについて ⑤その他</p>
12月20日	臨時会	<p>議案第10号 準要保護児童生徒就学援助費補助金の認定について</p> <p>(協 議)</p> <p>①奄美市笠利町との交流事業について</p>

		②その他
(平成29年) 2月23日	定例会	<p>議案第11号 みなかみ町公民館条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第12号 みなかみ町カルチャーセンター条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第13号 みなかみ町歴史民俗資料館等条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第14号 みなかみ町水上中部コミュニティセンター条例施行規則の一部改について</p> <p>議案第15号 みなかみ町体育施設条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第16号 みなかみ町新治B&G海洋センター条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第17号 みなかみ町立学校施設使用条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第18号 みなかみ町要保護及び準要保護児童生徒就学援助費支給要綱の一部改正について</p> <p>議案第19号 旧月夜野幼稚園下牧分園園舎の普通財産への移行について</p> <p>議案第20号 旧月夜野北幼稚園園舎の普通財産への移行について</p> <p>議案第21号 平成28年度みなかみ町一般会計予算3月補正予算(案)について</p> <p>議案第22号 平成29年度みなかみ町一般会計予算(案)について</p> <p>議案第23号 平成29年度みなかみ町教育行政方針(案)について</p> <p>議案第24号 学校給食費の決定について</p> <p>報告第3号 少子化に対応した活力ある学校づくりに関する提言について</p>

		<p>(協 議)</p> <p>①奄美市笠利町との青少年交流事業について</p> <p>②小・中・こども園の卒業式、卒園式について</p> <p>③小・中・こども園の入学式、入園式について</p> <p>④その他</p>
3月15日	臨時会	<p>議案第25号 平成28年度末教職員人事異動について</p> <p>議案第26号 みなかみ町歴史民俗資料館等条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第27号 みなかみ町体育施設条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第28号 みなかみ町文化・体育振興費補助金交付要綱等の一部改正について</p> <p>議案第29号 平成29年度奨学金認定について</p> <p>報告第 4 号 指定学校変更について</p> <p>報告第 5 号 みなかみ町教育委員会教育長職務代理者の指名について</p> <p>(協 議)</p> <p>①教育委員会点検・評価報告書について</p> <p>②平成28年度みなかみ町いじめ防止子ども会議</p> <p>③その他</p>

(平成28年4月～平成29年3月)

区 分	回 数	議案件数	協議件数	報告件数	選挙回数	教育長事務報告
定例会	4	20	20	3		4
臨時会	3	9	5	2		

● 28年度総合教育会議の開催状況

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正(平成27年4月1日施行)に伴い、町長と教育委員が構成員となり、相互の十分な意思疎通を図り、地域の教育の課題やあるべき姿を共有するため総合教育会議が設置されました。

総合教育会議において、町長は教育委員と協議して、教育に関する総合的な施策の大綱を策定するとともに、教育に関する重点的な施策について協議することとなっています。

28年度には以下のとおり開催され、協議を行いました。

開催日	案件等
(平成28年) 7月15日	1. みなかみ町教育大綱の策定について 2. その他

● 教育長・教育委員の活動

教育委員会は、定例会以外に各種研修会及び教育委員会主催の行事に参加しています。また、各小中学校へも学校訪問をして教育環境の整備や体制づくりに努めています。

(平成28年4月～平成29年3月まで)

期 日	行 事 内 容
4月 1日	教職員辞令交付式
7日	小・中学校入学式
8日	利根商業高等学校入学式
9日	つきよのこども園開園式
12日	スクールカウンセラー辞令交付式
13日	町婦人会総会 三国会運営委員会
14日	教育長・校長合同研究協議会
15日	小・中学校教職員離任式
20日	町文化協会総会
22日	町スポーツ推進員委嘱式
25日	教育委員会訪問 地区人事総括会議
27日	郡小中学校教育研究会総会 町体育協会総会
5月 2日	三国会総会
10日	町青少年育成推進委員総会 文化財調査委員委嘱状交付式
11日	水上中学校訪問
16日	藤原小学校訪問
19日	月夜野北小学校訪問
23日	新治小学校訪問

25日	教育長会議 縣市町村教育長協議会 縣市町村教育長人事会議
26日	教育委員会(定例会)
27日	社会教育委員会
31日	水上小学校訪問
6月 2日	新治中学校訪問
3日	中学生海外派遣事業説明会
6日	月夜野中学校訪問
7日	三国会運営委員会
14日	古馬牧小学校訪問
15日	教育委員会訪問
18日	小学生ホッケー大会
22日	教育長会議 桃野小学校訪問
24日	郡町村・沼田市教育委員会総会
29日	県へき地教育振興会総会
7月 1日	県町村教育長研修会
4日	少子化検討全体会議
6日	にいはるこども園訪問 市町村教育長人事会議 スポーツ推進委員本部役員会議
11日	給食センター運営委員会 町民体育祭準備会議
14日	教育長会議
15日	総合教育会議 教育委員会(臨時会)
20日	社会教育委員会
22日	中学生海外派遣壮行会
27日	少子化運営委員会
28日	小学生水泳記録会
29日	群馬県中学校総合体育大会開会式
8月 2日～	中学生海外派遣(タイ・カンボジア)
9日	
21日	藤原湖マラソン大会
23日	少子化分科会
26日	教育委員会(定例会) 少子化運営委員会
27日	少年の主張利根沼田地区大会
31日	みなかみ大学準備会・意見交換会
9月10日	中学校運動会
14日	社会教育委員会
17日	小学校運動会
20日	利根沼田地区人事会議
26日	町民体育祭
27日	利根沼田地区人事会議
29日	少子化分科会

10月	3日	教育長・校長合同協議会
	7日	少子化運営委員会
	11日	社会教育委員会
	13日	郡小学校陸上記録会
	15日	生涯学習大会
	19日	学校警察連絡協議会
	25日	みなかみ町防犯協会総会 郡町村教育委員会連絡協議会役員会議
	27日	平和式典戦没者追悼式
	30日	全国中学生人権作文表彰式
11月	5日	文化祭開会式
	8日	少子化運営委員会
	9日	郡小中学校児童生徒音楽祭 縣市町村教育長協議会
	11日	中学生議会
	15日	社会教育委員会
	24日	キャリア教育発表会
	25日	教育委員辞令交付式 教育委員会(定例会) 利根教育事務所人事ヒアリング
12月	4日	子供カルタ大会
	8日	「みなかみの教育」編集委員会
	10日	人権ポスター表彰式
	13日	少子化運営委員会
	20日	教育委員会(臨時会)
1月	6日	叙勲伝達式
	8日	成人式
	9日	中体連スキー大会開会式
	10日	地区人事会議
	11日	利根教育事務所人事ヒアリング
	13日～	県町村教育長研修会・協議会
	14日	
	17日	少子化検討委員会
	18日	利根沼田地区学校警察連絡協議会役員会
	19日	地区人事会議
	25日	市町村教育長人事会議
2月	4日	みなかみ町環境学習発表会
	10日	奄美市笠利町交流会歓迎式
	13日	縣市町村教育長協議会
	15日	地区人事会議
	20日	給食運営委員会
	21日	教育委員会訪問
	22日	地区人事会議

	23日	教育委員会(定例会)
	24日	いじめ防止子ども会議 学校警察連絡協議会優良児童生徒表彰式
3月	1日	利根商業高等学校卒業式 地区人事会議
	2日	三国会運営委員会
	13日	中学校卒業式 教育長・教育委員長合同会議
	15日	教育委員会(臨時会)
	16日	スポーツ推進委員会
	23日	小学校卒業式
	31日	教職員退職者辞令交付式

4. 教育委員会各事業

総務・学校グループ

施策マネジメントシート(平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成 29 年 6 月 14 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司
施策	26	学校教育の充実	関係課		

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
	①町内の児童生徒		①豊かな心と高い知性、健康な身体をもとに活力ある人間に育つ。	1	教育水準の向上	町内の児童生徒
2				教育内容の充実	町内の児童生徒	内容の充実した教育を受けられる。
3				教育環境の充実	町内の児童生徒	安全な環境で安心して学ぶことができる。
4						
5						

成果指標	成果指標名		単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	A	学力テストの結果 (児童/生徒)	%	実績値	81/81	80/80	76/80	79/83	82/81	83/82	
			目標値		81/81	81/81	81/81	81/81	81/81	81/81	81/81
B	体力テストの結果 (児童/生徒)	ポイント	実績値	50/50	50/50	50/50	50/50	50/50	50/52	50/50	
			目標値		50/50	50/50	50/50	50/50	50/50	50/50	50/50
C	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合	%	実績値	92/87	90/90	90/90	92/88	90/90	90/90	90/90	
			目標値		92/87	92/87	92/87	92/87	92/87	92/87	92/87
D	不登校児童生徒数	人	実績値	18	12	12	17	21	18		
			目標値		10	10	10	10	10	10	10
E			実績値								
			目標値								
F			実績値								
			目標値								

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 結果がよければ、高い知性が育まれていると考えられるため成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため信憑性が高い。小2～中3まで、1学期期間中に全員対象で実施するNRTテストで、学習到達度5段階中3以上(概ね学習内容を理解している)の児童(生徒)の数/児童(生徒)を百分率で表記したもの。

B) 結果がよければ、健康な身体が育まれていると考えられるため、成果指標とした。また、群馬県内や全国において採用率が高いため比較がしやすい。

全学年を対象に1学期期間に実施している新体カスポーツテストで、全国の標準を50ポイントとし、全国比で表わす。

C) 数値が高まれば、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれ健全に成長していると考えられるため成果指標とした。

学校評価のアンケートに設問を設けて把握する。各校で実施している調査の年平均を合算して平均する。

D) 数値が低ければ、豊かな心・高い知性・健康な身体が育まれていると考えられるため成果指標とした。

担当課で実数を把握
「児童生徒の問題行動等に関する月例報告書」による

目標値設定の考え方

A) 児童生徒数の減少により、学校や学級の適正規模の維持が困難となり、学力の低下も見込まれる。成り行きでは緩やかに低下傾向にあり、向上のための対策が必要である。補助教員や支援員・助働員の拡充、町独自の指導主事の設置など、他団体と比較して水準が高いため、更に成果を上昇させるにはより一層の取り組みが必要。よって、児童・生徒の学力は、現状の81%を維持することを目標とする(ワンポイントアップ作戦)。

B) 学校統合に伴いスクールバスを導入したことで、これまで徒歩通学であった児童・生徒(新治小・水上小)の体力の低下が懸念される。体力づくりでは、管内小中学校がそれぞれ特色有る取り組みを進めており、利根沼田地区の駅伝大会などでは、みなかみ町が上位を占めている。家庭での体力づくりは、環境によって異なるため、学校での取り組みを強化するなど、全体的な体力向上を図り、現状維持(平均値である50)を目指す。

C) 学校が楽しいと感じている児童・生徒の割合は、平成24年度においても高い水準にある。今後、児童生徒数が減少し学校や学級の適正規模を維持できなくなることを考えると、割合は低下すると予想される。小学校では嘱託職員(若い教員)をほぼ全校に配置しているため、成り行き値は急激には下がらない。平成24年度実績を維持することを目標とする。

D) 学校生活での人間関係や学習意欲・家庭環境など、不登校傾向につながる要因は多岐にわたるため、今後も、学校・家庭・関係機関が連携して、不登校児童生徒を増やさない取り組みを強化していく必要がある。児童生徒数は減少する見込みで成り行きでも絶対数は減少。目標値は10人以下を目指しており、毎年度10人以下を達成させたい。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	<p><家庭・保護者></p> <p>①家庭では子ども達の心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。</p> <p>②保護者としての自覚を持ち、社会的な義務を果たす。</p> <p><地域住民></p> <p>①「地域の子どもは地域で育てる」という意識をもち、子ども達が安心して活動できる地域づくりを進める。</p> <p>②地域の人材として学校現場へ積極的に関わるなど、教育活動へ協力する。</p>	<p>①教育の基本方針を策定する。</p> <p>②児童生徒の個に応じた教育環境をつくる。</p> <p>③児童生徒が安心して学習できる安全な環境をつくる。</p> <p>④教員の教育力や資質の向上を図る。</p>

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	<p>①地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律が、平成27年4月1日から施行される。教育委員会制度の見直し。</p> <p>②インクルーシブ教育の導入が議論されている。</p> <p>③平成26年度から平成28年度までの3年間、群馬県から「キャリア教育実践研究事業」の指定を受け研究事業を実践した。</p> <p>④少子化により、児童・生徒数が更に減少することが予想される。</p> <p>⑤食物アレルギーを持つ児童生徒が増加する傾向にあり、多種多様化している。</p> <p>⑥いじめ対策推進法が平成25年9月に施行された。(いじめ対策基本方針の策定等)</p> <p>⑦学習指導要領の見直し、改定により、平成30年度より道徳の教科化、平成32年度より小学校の英語が教科化される。</p>	<p>①教育施設の整備について、耐震改修終了しており、不平不満は聞こえてこない。</p> <p>②不登校等の問題行動については増加傾向にあり、すでに議会でも一般質問されており、関心の高さがうかがえる。</p> <p>③特別支援教育に対する意見や要望が多岐にわたっており、対象児童生徒の増加と関心の高さがうかがえる。</p> <p>④部活動等の課外活動も含め、少子化に対応した小中学校の教育環境整備が求められている。</p>

施策	26	学校教育の充実	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①学力テストの結果では、小学生は83%、中学生は82%と共に昨年度より1ポイント上がっている。学校別・クラス別にはバラツキがあり、学校によっては1学年数名というクラスもあり、振れ幅が大きい(少人数学校の影響が大きくなる)。 ②体力テストでは小中とも全国の標準を50ポイントとした水準と変わらなかったが、中学生は昨年度の52ポイントから50ポイントとなり2ポイント下がった。 ③学校が楽しいと感じている児童生徒は、昨年度と同様に、引き続き高い水準を維持している。 ④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は18人と昨年度より3名減少した。適応指導教室(リエントリールーム)の開設と併せて、各学校の教職員による家庭訪問の実施、スクールカウンセラーによる面談及び不登校対策委員会における情報の共有化と指導方針の決定に伴う取り組みを行った。
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①少人数指導体制など群馬県独自の取り組みを実施するとともに、平成23年度から導入している町独自の教育補助員事業を継続していることにより、比較的高い水準にある。 ②体力テストの結果は、朝活動など各学校の取り組みにより、全国平均値を50とした場合の同水準にある。しかし、全国的に子どもの体力は低下する傾向にある。 ③学校を楽しいと感じている子どもの割合は、小学校で90%、中学校で90%と共に高い水準にある。 ④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は昨年度より3名減少して18人となっている。平成28年度学校基本調査(平成27年度)における全児童生徒数に占める不登校児童生徒数の割合が過去最多(中学生は35人に1人)となり、全国1.26%(平成26年度は1.21%)、平成28年度みなかみ町1.52%(平成27年度は1.69%)となっており、増加傾向にある。
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①学力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値と同水準だった。 ②体力テストの結果は、小学生・中学生ともに目標値を上回った。 ③学校が楽しいと感じている児童生徒の割合は、ともに高い水準を維持している。 ④不登校児童生徒(30日以上欠席)の数は18人と昨年度より3名減となったが目標を下回っている。適応指導教室(リエントリールーム)に通級しながら、保健室登校や別室登校へ移行するなど、学校と家庭と教育委員会との連携、スクールカウンセラーの活用、不登校傾向の児童生徒への早期対応などの取り組みにより、成果は上がっている。
成果実績に対する総括	<p><教育水準の向上>①県費教職員人事に関する事務事業は、県教育事務所と協議を行い定数を超える教職員数を配置(特配)した。②教育補助員事業:町職員1名、補助教員兼支援員(嘱託員)8名、支援員(臨時職員)1名、介助員(臨時職員)4名、計14名を配置し、支援を必要とする児童生徒に対応。③中央公民館に開設している適応指導教室(リエントリールーム)に専任指導員(嘱託員)1名を配置し、不登校児童生徒の所属校への復帰を支援した。④小学校の英語教育の必修化に伴い、ALTを4名配置し訪問指導回数を増加。⑤少子化に対応した活力ある学校づくり検討委員会から平成29年1月に「少子化に対応した活力ある学校づくりについて」提言を受け教育委員会協議会を開催し協議を重ねた。</p> <p><教育内容の充実>①教育委員会事業:教育委員が指導主事と一緒に各校の授業参観、学校訪問を行い、助言をすることが各校の教育活動の充実につながっている。②みなかみ町は町費で指導主事を配置。各校の相談に対して指導主事を派遣して対応した。③三国会(みなかみ町小中学校教育研究会)研究事業:授業研究会において、利根教育事務所・指導主事の指導助言を受けながら、基礎基本を定着させる授業のための研修を行った。④中学生海外派遣事業:中学2年生34名がタイ王国バンコクのラジャハット大学附属中学校やJICAバンコク事務所、在タイ日本国大使館、またカンボジア王国シェムリアップのファーム・チルドレン・ヴィレッジを訪問し、海外の中学生や様々な年齢層の子ども達との交流活動や東南アジアにおける日本の役割などについて研修を行った。また、教育委員による現地調査を実施した。</p> <p><教育環境の充実>①スクールバスの計画的な更新を行った。(29人乗り1台:新治地区)②各小中学校施設の修繕を行うとともに、校庭その他の植栽について、緊急性のある案件から伐採や剪定を行った。③小中学校の情報教育を充実するため、パソコンなどのIT機器を計画的に導入した。④管内小中学校を中心に、関連部署と連携しながら、通学路の安全確保に努めた。⑤古馬牧小学校トイレの乾式化及び洋式化、多目的トイレの設置を行った。⑥利根沼田学校組合立高等学校改革基本構想の施設整備(多目的グラウンドの人口芝生化:サッカー場)のため補助金を交付した。</p>		

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成30年度の取り組み方針(案)
	1 教育水準の向上	①みなかみ町公立学校の教育環境整備について、方向性を明確にし、適正規模を考慮した学校の再配置の実施に向けた計画の作成・地元説明会等の取り組みが急務となっている。 ②学習指導要領の見直しや改正により、実施までの準備・指導のポイントなど共通理解を深め相互の連携を図る。 ③質の高い、きめ細かな教育を実践するためには、特別支援教育に携わる補助教員や支援員・介助員の拡充だけでなく、一般の教職員の特別支援教育に対する専門性を向上させる必要がある。	①みなかみ町における望ましい学校の配置(統合・再編)に向けた計画に沿った取り組みを行う。 ②学習指導要領の見直しより、平成31年度より中学校において道徳は「特別の教科」道徳科となるため、県と連携し、授業研究等を行い、教員の資質向上に努め、共通理解と連携を図る。 ③特別支援教育をテーマとしたみなかみ町教育研究会(三国会)の活動を支援する。
	2 教育内容の充実	①内容の充実した教育を実践するためには、基礎・基本を定着させる授業や自ら学ぶ意欲を育む授業が求められており、教職員がより良い授業を行うための研究授業や研修を充実させる必要がある。 ②ユネスコエコパーク登録に伴い、現在各学校で取り組んでいる環境学習を更に推進し、「持続可能な開発のための教育の学習の場」としてユネスコスクールへの登録が課題となっている。 ③児童生徒の体力の低下が懸念されており、体力づくりに係わる各学校での取り組みが必要である。 ④基本的な生活習慣が身に付いていない児童生徒が増えており、より一層の家庭との連携が必要となっている。	①基礎・基本を定着させる授業や自ら学ぶ意欲を育む授業を実践するため、引き続き「みなかみ町教育研究会(三国会)」が実施する教職員の研究授業や研修を充実させる。 ②ユネスコスクールの登録数を増やすための支援を行う。 ③朝活動や放課後活動など、体力づくりに係わる各学校での取り組みを継続する。 ④家庭や地域との連携を図りながら、子どもたちの心身の健康を育み、基本的な生活習慣や善悪の判断等規範意識の基礎をつくる。
	3 教育環境の充実	①登下校の交通安全は、全国的にも喫緊の課題であり、学校や関係機関と連携しながら、危険箇所の計画的な改良を進める必要がある。また、「地域で児童生徒を見守る」活動について、より推進していく必要がある。 ②管内小中学校の多くの施設が老朽化しており、計画的な修繕や改修が必要となってきた。	①沼田警察署・国土交通省高崎河川国道事務所沼田維持修繕出張所・群馬県沼田土木事務所・町地域整備課・町総務課・校長会・教頭会・PTA等連合会・教育委員会による「みなかみ町交通安全推進会議」において、通学路の安全点検に基づいた、安全確保に向けた情報共有を図るとともに、危険箇所の改善を継続的に進める。 ②実施計画や修繕計画に基づき、学校のグラウンド整備や「トイレの乾式化・洋式化・多目的トイレ」の改修を行う。

26 学校教育の充実

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	教育委員会運営事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,014,854 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上				委員会開催回数			
根拠	無	組織	教育 総務学校	課 G	課長	杉木 隆司	教育委員会の意向を反映していくためには、教育委員が地域住民の意向を把握することが重要であり、把握のための工夫や、学校教育機関へ訪問し状況を把握したり、PTAや学校関係以外の団体等意見交換も必要。			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	1	目	1
							平成27年度	平成28年度	単位	
							8	7	回	

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	事務局一般管理事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,049,010 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上				決算額			
根拠	無	組織	教育 総務学校	課 G	課長	杉木 隆司	調査に関しては、各学校に依頼することが多いため、依頼を出す際、共通した指示をすることが円滑な事務につながる。			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
							平成27年度	平成28年度	単位	
							4,073	4,049	千円	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	小中学校教育研究会(三国会)事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	450,000 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上				学校数(小・中)			
根拠	無	組織	教育 総務学校	課 G	課長	杉木 隆司	小学校6校・中学校4校ある町の規模からみて、町指導主事の数が不足している。そこで、各部会における校長先生のリーダーシップがより発揮されるようになり、指導的な立場となる教諭を育成したりする必要がある。			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
							平成27年度	平成28年度	単位	
							6・4	6・4	校	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	学校経営研究・研修事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	118,690 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	01	教育水準の向上				研修会回数(校長・教頭)			
根拠	無	組織	教育 総務学校	課 G	課長	杉木 隆司	課題なし			
事業期間	継続事業	H ~ 年間	会計	1	款	10	項	1	目	2
							平成27年度	平成28年度	単位	
							6・3	6・3	回	

26 学校教育の充実

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008	学校教育研究・研修事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	374,986 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		群馬県小学校中学校教育研究会、利根郡へき地教育センター、利根郡中学校教育研究会音楽部			事業実績				
	基本事業	01	教育水準の向上					学校数(小・中)				
根拠	無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
			総務学校	G	杉木 隆司	課題なし		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	6・4	6・4	人

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 28 年 6 月 6 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	教育補助員事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	23,680,098 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		障害を持つ児童生徒が学校活動を行う際に適した支援や介助を行う。就学時健診や就学指導委員会で審議された結果、特別支援を必要とする学校に補助教員兼支援員を配置する。	各学校の状況に応じ、充実した支援ができるよう補助教員兼支援員を配置の配置をした。		事業実績				
	基本事業	01	教育水準の向上					・開催数(特別支援教育委員会・特別支援教育連携協議会) ・配置職員数				
根拠	無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
			総務学校	G	杉木 隆司	各学校の状況を的確に把握し、充実した支援ができるよう継続的に配置していく必要がある		各学校に必要な支援員兼補助教員(教員免許保有)の確保を継続的に行っていく。				
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
										4・9	5・9	

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000010	外国語指導助手(ALT)事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	20,597,155 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		児童生徒が外国語や異文化を理解し、外国人と積極的にコミュニケーションを図れるようになることを目的に、4名のALTを配置し、チームティーチングによる英語指導を行う。	新規招致ALTと共に学校を訪問し、各校の英語担当者と面談を実施し、学校での活動にスムーズに取り組めるようにした。		事業実績				
	基本事業	01	教育水準の向上					学校訪問回数(平均)・ALT人数				
根拠	無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
			総務学校	G	杉木 隆司	各校の英語担当者とコミュニケーションを深め、教職員と共に活動する意識をもてるようにしていく。また、各校の訪問回数に差があることも今後の課題である。		指導要領の改訂を視野に、ALTの増員等の検討を行う。				
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
										89・4	小40 中126・4人	回・人

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	適正教育支援事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,345,662 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		子どもの能力や性格などには個人差があり、早期から教育相談を行えるよう、幼稚園、保育所及び県教委や保健福祉事務所等関係機関の協力を得て、子どもの状況を的確に把握し適切な就学指導を行う。			事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実					就学指導委員会該当数(新就学児童・就学児童生徒)				
根拠	有	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
			総務学校	G	杉木 隆司	保護者からの就学相談を受ける人材を育成する必要がある。		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	#N/A	会計	1	款	10	項	1	目	2	10・114	12・121	人

26 学校教育の充実

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	特別支援教育推進事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	270,360 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実								
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司					
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2	
					みなかみの特別支援教育推進に係り、教育・医療・保健・福祉・地域が連携し合う組織とする。 ○就学指導部会(部会長 通級指導教室担当教諭) みなかみの就学指導に係り、各校園並びに保健・福祉が連携し合う組織とする。具体的には、相互参観・情報交換会・情報収集等を行うとともに、就学指導・就学相談への協力を行う。 ○支援ファイル部会(部会長 保健師) 特別支援教育の必要な児童生徒に対し、長期的な視点で乳幼児期から学校卒業後までを通じて一貫して的確な教育的支援を行うことを目的として、支援ファイル「き		指導主事1名で2,000人もの園児・児童・生徒の状況を把握することは難しい。そこで、管内の通級指導教室担当者や特別支援教育コーディネーターを活用する必要がある。		3歳以上の幼稚園・保育園児・小中学校児童生徒		
								平成27年度	平成28年度	単位	
								316・1244	441・1183	人	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 6 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	特別支援学級就学援助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	小 406,850 円 中 431,244 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実								
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司		受給者数			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目		
					特別支援学級に通う児童生徒の保護者に対し、就学に必要な経費の一部を補助する。				平成27年度		
								平成28年度	単位		
								28	26	人	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	文化活動派遣費補助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	70,200 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実								
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司		補助件数			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2	
					音楽祭、コンクール、音楽研究大会、社会科見学等の小中学校における文化活動を対象にバスの借上や移動費補助を行う				平成27年度		
								平成28年度	単位		
								2	2	件	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	運動選手派遣費補助事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,605,417 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実								
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司		補助件数			
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2	
					小中学校の運動大会出場に関する派遣費補助を行う。補助金申請事務、補助金の支払い、大会成績の広報などを行う。		小中学校教育研究会(三国会)事業総会への出席をし、内容の把握・状況の確認を行った		平成27年度		
								平成28年度	単位		
								18	18	件	

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	中学生海外派遣事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	10,451,509 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		本町の中学生を対象に海外の異文化を体験させることで、国際的視野の拡大、国際親善・国際理解を深めると共に、自分たちの住みみなかみ町について再確認する機会を与える。	教育委員による現地調査を実施(2月)	事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実				派遣事業参加生徒			
根拠	無	組織	教育課	課長	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	
	H ~ 年間				推進委員会において派遣者の具体的な選定基準の設定。各学校との連携。	平成29年度の行程にODA現地視察(パープルライン試乗)の追加した。新たに、台南市派遣事業が教育委員会事業となった。	17	34	人	

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008	奄美大島青少年交流事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	940,649 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		奄美市笠利町と、夏と冬で各々が訪れ風土の違いを肌で実感しながらお互いの交流を図り、青少年の健全育成を図る。		事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実				参加者の数			
根拠	無	組織	教育課	課長	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	6	目	1	
	H ~ 年間				夏、冬とも子ども達が1週間交流事業に関わることが時間の無い子ども達にとって難しくなっている。	今回定員を超える申込があった。今後も継続して少しでも多くの児童に参加してもらえよう事業の魅力を再度周知していきたい。	9	16	人	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	総合的な学習の時間支援事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	247,460 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		総合的な学習の時間等において、外部講師を依頼した際にかかる保険。		事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実				児童数・生徒数			
根拠	無	組織	教育課	課長	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	
	H ~ 年間				他の事業と合わせて、教員の指導力向上を図ることにより、外部講師の有効活用にもつなげる必要がある。		758・486	723・465	人	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000010	自然学習教室補助事業	① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	20,000 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		子どもたちに自然や環境について実質的に体験する機会を提供することを目的として、ぐんま昆虫の森やぐんま天文台に訪れて行う自然学習教室の実施に要する経費の一部に対して補助金を交付する。業務としては、県への補助金申請、学校からの補助申請の受付・支払・実績報告のとりまとめ、県への実績報告を行う		事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実				参加学校数			
根拠	無	組織	教育課	課長	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	
	H ~ 年間				この事業は県補助金の交付決定を受けることで少しでも学校・保護者の負担を減らすことを目的としている。町からの加算補助金がなく、県の単価が毎年変わるので歳出の変動が多い。	継続	2	2	校	

26 学校教育の充実

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000011	尾瀬学校事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,385,420 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		児童生徒が尾瀬での自然体験学習・事前学習を行い、質の高い環境教育を図る。事業実施小中学校について、事業費(バスの借り上げや現地ガイド料)を県に補助申請し、支払業務を行う。	各学校への事業内容の周知や予算学校ヒアリング時に説明をした。。		事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実					参加学校数				
根拠	無	組織	教育課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度			平成28年度	単位
事業期間	継続事業		総務学校	G	杉木 隆司	継続		4	6	校		
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2	

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000012	卒業記念品事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	131,580 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		毎年小・中学校の卒業生に卒業記念品として卒業証書を入れるホルダーを贈呈する。			事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実					卒業記念品数				
根拠	無	組織	教育課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度			平成28年度	単位
事業期間	継続事業		総務学校	G	杉木 隆司	継続		324	306	冊		
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	1	目	2	

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000013	家庭教育支援事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	129,583 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		小学校に入学する前の就学時健診時と中学校に入学する前の移行学級を活用し、保護者を対象に「子育て講座」を実施し、子育てを行う保護者へ子育てに関する啓発を促す。	保護者には、講座修了後にアンケート調査を実施。学校側には、講座修了後ヒアリングを行った。今年度は、藤原中学校入学生徒が1名のみだったため水上中学校と調整を行い、合同開催とした。		事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実					講座開催数				
根拠	無	組織	教育課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度			平成28年度	単位
事業期間	継続事業		生涯学習推進	G	杉木 隆司	例年、藤原小中の新入学児童・生徒数が少ないため、今後も水上中学校との合同開催を検討していきたい。		10	8	回		
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000014	高等学校定時制教育振興事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	21,900 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実		定時制教育への支援			事業実績				
	基本事業	02	教育内容の充実					沼田高校定時制生徒数				
根拠	無	組織	教育課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度			平成28年度	単位
事業期間	継続事業		総務学校	G	杉木 隆司	特になし。		6	13	人		
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	4	目	1	

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000015	キャリア教育実践研究事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	71,252 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	02	教育内容の充実				開催数(学校間連絡会議・地域連絡協議会)			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	小学校・中学校・地域・町・県の連携		キャリア教育推進地域「新治地区」の実践研究成果を基に、管内小中学校で同様な取り組みを実施させる。	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	2
	H ~ 年間						平成27年度	平成28年度	単位	
							4・3	3・5	回	

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	小学校運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	69,366,642 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				学校数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	各校への予算の公平性確保。		継続	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	2	目	2	2
	H ~ 年間						平成27年度	平成28年度	単位	
							6	6	校	

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	中学校運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	48,618,261 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				学校数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	各学校への予算の公平性確保。		継続	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	3	目	2	2
	H ~ 年間						平成27年度	平成28年度	単位	
							4	4	校	

平成 28 年 6 月 22 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	月夜野給食センター管理運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	137,536,052 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				1日あたり調理食数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	給食費滞納分の徴収		支払依頼を継続し、訪問回数が増と児童手当支給時に充てて頂けるよう交渉。同時に現年度分の未納分も徴収するようにし、滞納繰越額を増やさないようにする。	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	8	目	1	1
	H ~ 年間						平成27年度	平成28年度	単位	
							1,130	1,007	食	

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 6 日作成 (平成 29 年 3 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	新治給食センター管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	72,035,625 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		新治地区内の小中学校等への給食の提供により、子供たちの心と体を健やかに育み生きていく力を養い、また正しい食習慣を身につけ、自らの健康管理が行えるように指導し、給食活動を通じて家庭・地域の食生活改善に役立っている。	調理機器の状況の洗い出しを行い、現状を把握。順次使用頻度・劣化状況に応じた修理・買換計画の策定。	事業実績						
	基本事業	03	教育環境の充実				1日あたり調理食数						
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度		平成28年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	8	目	1	493	447	食
			総務学校	G	杉木 隆司	調理機器の老朽化(平成15年施設稼働時より使用している調理機器が耐用年数を過ぎ、故障修理が増えている。)		策定した修理・買換計画に従って、計画的に予算計上を行い実施していく。					

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	小・中学校IT環境整備事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	小 3,255,984 円 中 16,251,300 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		館内小・中学校10校の情報環境整備をおこない、パソコン教室や普通教室に安全で快適なインターネット環境を実現する。また、授業準備に必要な職員用パソコンの整備を行う。	計画的なPCとサーバーの導入。	事業実績						
	基本事業	03	教育環境の充実				PC台数(児童生徒用・教職員用)						
根拠	有	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度		平成28年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	####	目	####	397・228	327・223	台
			総務学校	G	杉木 隆司	文部科学省の指針に基づき、各教室でタブレット端末を活用できるように、平成32年度までに無線LAN環境を整備する必要がある。 win 7 と win2008ser は平成31年度にサポート期限を迎える		無線LAN及びタブレットの導入について計画的にすすめる。					

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	藤原小中学校教職員住宅管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	263,348 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		へき地の学校に赴任する教職員の通勤負担を解消するため、希望のあった教職員の入退きの管理及び住宅施設の維持管理を行う。		事業実績						
	基本事業	03	教育環境の充実				入居者数						
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度		平成28年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	4	4	人
			総務学校	G	杉木 隆司	耐用年数と維持管理コストを勘案し、検討していく。							

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	小・中学校施設維持管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	6,472,461 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		管内小中学校の学校では対応が出来ない老朽、破損等に伴う修繕を事務局が主体となって行う。基準として請書、契約書が必要となる高額な修繕を行う。	児童生徒への安全性や授業等を考慮して、優先的な修繕を実施している。	事業実績						
	基本事業	03	教育環境の充実				全体の修繕件数						
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度		平成28年度	単位		
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	1	目	2	20	23	件
			総務学校	G	杉木 隆司	今後、施設が老朽化していくに修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。		優先順位を明確にし、長期的に対応が必要な修繕等は、計画的に予算計上を行い実施していく。					

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008	要保護・障害児児童生徒就学援助費支給事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	小 1,643,450 中 1,919,376	円
施策体系	施策	26	学校教育の充実		経済的な理由によって就学が困難な児童生徒について、学用品費・給食費など学校にかかる費用の一部を援助する。	学校及び関係機関と連携し、支給前の確認を緊密に行うことで援助費の適正な支給を行った。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				受給児童生徒数			
根拠	有	組織	教育	課	課長	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
			総務学校	G	杉木 隆司	経済的に厳しい家庭が増えてきているので、今後も受給児童生徒数が増えるものと見込まれる。		47	55	人
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	2	目	1

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	地域学校保健委員会事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	79,586 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実		みなかみ町の児童・生徒の体と心がバランスよく発育・成長していくために、学校と家庭、地域の役割と連携の在り方を探る。そのために、各学校の養護教諭等を中心に、研修や情報交換を行う町学校保健委員会を設定する。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				児童数・生徒数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
			総務学校	G	杉木 隆司	課題なし		758・486	723・465	人
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000010	児童生徒災害共済保険加入事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	小 678,175 中 435,055	円
施策体系	施策	26	学校教育の充実		学校の管理下における児童生徒等の災害共済給付を行う。		事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				給付件数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
			総務学校	G	杉木 隆司	福祉医療費の返還事務を考慮した事務をしない場合は業務時間の短縮が可能だが、それにより福祉部局の事務量が增大することが予想されるため、一概に削減余地を表記できない。		118	121	件
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	####	目	####

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 4 月 19 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000011	児童生徒等健康保持増進事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,389,811 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実		学校保健安全法により児童生徒及び教職員の健康診断を行い、心身の健康保持増進を図る。	養護教諭情報交換会を開催し、課題を共有し、学校保健に係る事務の進め方について再確認を行った。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実				受診児童生徒数・受診教職員数			
根拠	無	組織	教育	課	課長	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
			総務学校	G	杉木 隆司	養護教諭との連携を深め、健康診断等の事務を円滑に進められるようにする。		1233・39	1188・35	人
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	1	目	2

26 学校教育の充実

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000012	児童生徒非行防止・健全育成事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	28,500 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		利根沼田地区学校警察連絡協議会	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			児童数・生徒数			
根拠	無	組織	教育	課	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
			総務学校	G		課長			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H ~ 年間								
						平成27年度	平成28年度	単位	
						758・486	717・466	人	

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000013	有害サイトアクセス制限事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	777,600 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		小中学校の児童生徒が使用しているインターネット環境において、子どもが安心して調べ学習ができるように不適切な情報にアクセスできないよう監視やアクセス制限をする。情報環境のセキュリティシステム機器のリース	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			不適切なホームページにアクセスした回数(報告数)			
根拠	無	組織	教育	課	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
			総務学校	G		課長			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H ~ 年間								
						平成27年度	平成28年度	単位	
						0	0	回	

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000014	遠距離通学費助成事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,045,020 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		遠距離通学する児童・生徒の保護者の負担を軽減し、義務教育の円滑な運営に資するために、通学費の全部又は一部を補助する。交付対象者については、居住地から学校までの距離が原則として、小学生は4キロ以上、中学生は6キロ以上であり、スクールバスを利用していない児童生徒の保護者。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			遠距離通学児童・生徒数			
根拠	無	組織	教育	課	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
			総務学校	G		課長			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H ~ 年間								
						平成27年度	平成28年度	単位	
						60	60	人	

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000015	スクールバス管理運営事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	53,650,415 円		
施策体系	施策	26	学校教育の充実		主にみなかみ町の小中学校の児童・生徒及び幼稚園児の通学・通園に利用するバスの運転業務を効果的に運営する。	事業実績			
	基本事業	03	教育環境の充実			バス利用者数			
根拠	無	組織	教育	課	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
			総務学校	G		課長			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2
	H ~ 年間								
						平成27年度	平成28年度	単位	
						285	296	人	

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000016	スクールバス整備事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	15,576,250 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		耐用年数を経過し、老朽化したスクールバスを更新整備し、児童・生徒の登下校の安全確保を図る。		事業実績					
	基本事業	03	教育環境の充実				バス整備(更新)台数					
根拠	有	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
H	~	年間					1			1		台
					補助事業を活用し購入したバスについては、処分制限期間(6年)の目的外利用が出来ないため、経路変更等は文部科学省への届出が必要となる。		バスについて計画的に更新していく。経路等については、今後必要の応じ協議していく。					

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000017	地域子ども安心安全・育成協議会活動支援事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		児童生徒の安全安心な通学を維持するため、地域全体で協力して見守る活動を行う。	通学路マップ、年間行事予定表、月間行事予定表などを地域に配布するなど安心安全な通学を確保するため、協議会で検討を継続していく。	事業実績					
	基本事業	03	教育環境の充実				見守り員、ボランティア人数 ・110番の家					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
H	~	年間					65・74			63・77		人
					地域ごとに取り組みに差があり、各学校及び各地域で一定以上の見守り体制等を構築できていない。		協力できる人から、少しずつお願いするなど学校や地域との連携を図る。					

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000019	利根沼田学校組合(利根商)運営費負担事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,320,000 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		利根沼田学校組合立利根商業高等学校運営費負担金		事業実績					
	基本事業	03	教育環境の充実				みなかみ町在生徒数					
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	4	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
H	~	年間					126			132		人
					課題なし							

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 4 月 20 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000021	小・中学校トイレ改修事業	① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	31,385,880 円				
施策体系	施策	26	学校教育の充実		開校以来、未改修の学校及び洋式便器のない学校を対象に、洋式化、バリアフリー化、多目的トイレの設置等を推進し、教育環境の改善を図る。	古馬牧小学校のトイレ改修を実施した。	事業実績					
	基本事業	03	教育環境の充実				トイレ環境が整備されている学校数					
根拠	有	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策			
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	1	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
H	~	年間					4			5		校
					既存のスペースで洋式化をしなければならぬため、必要スペースの確保が難しくなる。		現況を把握しながら、計画的に整備を行う					

26 学校教育の充実

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000022		小・中学校施設設備の整備充実事業				① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	3,855,600 円			
施策体系	施策	26	学校教育の充実				管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。当事業は破損・劣化箇所を修繕し、児童・生徒・教職員が安全に利用できる施設とするものである。			適正な使用等について周知を図る。			事業実績				
	基本事業	03	教育環境の充実										② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		全体の工事・修繕件数
根拠	有	組織	教育	課	課長		杉木 隆司		管内小・中学校施設において破損・劣化・消耗等により修繕が必要な箇所が多い。今後、施設が老朽化していくに従い修繕必要箇所が増えるものと見込まれる。			整備計画等を作成し、計画な対応が必要。			平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	10	項	1	目							2	1	1

平成 28 年 7 月 4 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000023		利根沼田学校組合(利根商)地方交付税交付事業				① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	367,152,000 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実				利根沼田学校組合が所在する本町が、高等学校費算入分の全額を普通交付税として歳入し、負担金として支出する。H28年度より特別交付税(寄宿舎、非常勤職員公務災害)分追加。						事業実績		
	基本事業	03	教育環境の充実										② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策
根拠	有	組織	総合戦略	課	課長		宮崎 育雄		課題無し			平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	会計	1	款	10	項	4	目				1	374,840・0	357,789・9,363	千円

平成 28 年 月 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000026		利根沼田学校組合(利根商)教育施設整備補助金交付事業				① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	98,600,000 円	
施策体系	施策	26	学校教育の充実				H28年度は多目的グラウンドの人工芝化						事業実績		
	基本事業	03	教育環境の充実										② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策
根拠	無	組織	教育	課	課長		杉木 隆司					平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	#N/A	会計	1	款	10	項	4	目				1	1	1	施設

生涯學習推進室

施策マネジメントシート(平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成 29 年 6 月 14 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	27	生涯学習の推進	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業	基本事業名	対象	意図	
	①町民	①生涯を通じて自主的に学習する。		1	学習意欲の高揚	意欲や関心がない人	生涯学習への意欲や関心を高める。
				2	学習機会の充実	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する機会を得られる。
				3	学習環境の整備	生涯学習に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	学習する場を確保できる。
				4			
				5			

	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	日頃から、生涯学習を行っている町民の割合	%	実績値	35.5	27.4	25.7
			目標値		35.0	35.0	35.0	35.0	35.0	35.0
B	文化協会加盟団体登録者数	人	実績値	1,331	1,314	1,207	1,012	1,041	1,024	
			目標値		1,320	1,320	1,320	1,320	1,320	1,320
C	生涯学習施設利用者数 (中央公民館・水上公民館・新治公民館)	人	実績値	13,700	13,865	13,227	13,279	12,244	10,013	
			目標値		14,000	14,000	14,000	14,000	14,000	14,000
D			実績値							
			目標値							
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法	A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。 町民アンケートにより把握 ※あなたは日頃、テーマを持って学習活動に取り組んでいますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」、「月に1回程度」、「年に数回程度」と回答した人の割合
	B) 文化協会登録団体者数 (自らの教養を高めるための学習活動を行っている人達) であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。
	C) 中央・水上・新治の3公民館で生涯学習のために利用した人数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方	A) 生涯学習を行っている人(文化協会など)には高齢者の割合が高い。 若い人の参加が鈍いことを考えると、今後、学習を行っている人の割合が徐々に減少すると想定される。 平成20年度水準(35.0%)を維持し、町民の3人に1人以上が生涯学習を行っている状態をめざす。
	B) 文化協会加盟者は、高齢者が多く人数も減少傾向である。現状を維持するため各文化団体を支援し町文化祭への参加と充実。また生涯学習活動のきっかけを作る事業を実施し、文化協会に加盟してもらえるような自主活動グループの育成をめざす。
	C) 施設利用者数は町内教育委員会管理施設で開催されている各教室、講座等の延べ数。

施策のための目的・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割 ①生涯学習の必要性を感じ、生きがいとなるような学習活動を行う。 ②学習の楽しさを広め仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	2. 行政(町、県、国)の役割 ①生涯学習の機会の提供や契機づけを行う。 ②生涯学習施設の整備と管理運営を行い、生涯学習を行うための場を提供する。 ③生涯学習を行う人・団体の活動を支援する。
---------------	--	--

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか? ①今年度のアンケート結果を見ると生涯学習を行う人の割合は30代から40代が低い結果となっている。 ②生涯学習に関して、今後5年間で法的に大きな変更はない。 ③社会教育委員により報告された町内の図書環境についての提言書を受け、蔵書検索機能の導入及び図書管理システムの一斉化の検討。 ④今後、高齢者の利用が増加するためバリアフリー等、利便性の良い施設が必要となる。	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか? ①毎年、講座終了後のアンケート等から手軽(初心者向け)に学びたいという声があり、学習講座の開催を希望する声がある。 ②各団体の講習会等開催チャン配布の依頼や後援等の支援要望がある。 文化祭の会場設営では、参加者の高齢化に伴い手伝いを出していただきたいとの要望がある。 ③各図書室について改善要望の声がある。 ④施設によっては、駐車場の確保やバリアフリーが必要という声がある。
-----------	---	--

施策	27	生涯学習の推進	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
----	----	---------	-----	--------------------

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。	<p>① 日頃から生涯学習を行っている町民の割合を年度比較すると、平成27年度23.9%、平成28年度25.4%と微増となった。年代別の内訳で比較すると一番落ち込みが大きかったのが20才台のマイナス17.3%で、逆に40～60才台は全て増加に転じている。</p> <p>また、平成28年度を年齢別の割合で比較すると、30～40才台の取り組み割合が低く平均で21.0%となっている。</p> <p>② 毎年団体数・会員数が減少傾向にあり、会員の高齢化も進んでいるため、活動が困難となる団体が生じている。</p> <p>③ 各公民館は活動の拠点となっており、サークル活動や学習会等が行われている。利用者は年々減少している。</p> <p>今回の減少については、利用団体を数に近しい状況に精査したため。</p>
		<input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。	
	<input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態)		
<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。			
<input type="checkbox"/> かなり低下した。			
② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。	<p>① 一般に公民館講座と呼ばれるような町民向けの学習講座が少なく、みなかみ町の公民館事業としての講座やイベントは実施していない。(生涯学習推進室の企画事業のみの実施)</p> <p>② 文化協会の活動は近隣市町村と比べ自主的に企画立案しており、活動内容【研修会・講習会・後継者育成等】の充実が図られている。平成28年度郡内の文化協会員数(人口比率)は、みなかみ町1,024人(5.1%)、昭和村442人(5.8%)、川場村396人(11.7%)、片品村403人(8.6%)であり人口比率では郡内では低い位置にある。</p> <p>③ 図書館の無い自治体は、県内35市町村の内みなかみ町を含め12町村である。図書室の1人当たりの蔵書冊数は、みなかみ町 3.3冊、昭和村 2.4冊、川場村 3.7冊、片品村 1.7冊で、郡内では比較的高い位置にある。</p>	
	<input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。		
	<input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。		
	<input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。		
③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	<p>① アンケート結果は目標値を下回っている。ただし、生涯学習は多種多様であり、個人の意識もそれぞれ差がある。学習を行っている人と捉えている人、あくまでも趣味として楽しんでいる人など、様々でありアンケートでは捉えられない部分もある。</p> <p>② 文化協会登録者数は目標値を下回っているが、文化協会は高齢化が進み継続できない団体もあるなか、役員を中心に活動は活発である。文化祭や教養講座等自主的に運営されている。</p> <p>③ 公民館利用者数は目標値を下回っている。各地区公民館のうち新治公民館の利用者が少ない状況である。各施設での活動内容は、サークルの学習活動やキッズセンター等、青少年の体験活動の機会提供や居場所づくりに利用されている。</p>	
	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。		
	<input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。		
	<input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。		
<input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。			

成果実績に対する総括	<p>① 文化・社会教育の振興を図るため、公募により、活動団体に対して文化活動補助事業補助金(計500千円)を7団体に交付した。</p> <p>② 文化水準の向上、生涯学習への意欲の向上のため文化祭を開催し、各団体日頃の学習成果の発表の場を設けている。</p> <p>③ 社会教育委員連絡協議会において、社会教育に関する諸計画の立案、会議の開催、研修会へ参加したことで、社会教育委員としての資質の向上ができた。それが契機となり、町内図書環境について提言をまとめたり、生涯学習フェスティバルの主管団体として企画立案から当日の運営まで行った。</p> <p>④ 平成28年度の生涯学習フェスティバルは、大幅に内容を見直し、町内で生涯学習活動を実践している団体の発表と交流を促進する機会とした。参加者は約200名であった。</p> <p>⑤ 「住民の新たな学習に向けたきっかけの提供」を目的とし、トランプマジック入門講座と基礎から学ぶみなかみ町の歴史講座を開催した。マジック講座は修了後、受講生による主体的なサークル活動が公民館で行われている。歴史講座も定員を大きく上回る盛況ぶりです学習資源の活用を図った。</p> <p>⑥ 今回初めての試みとして、カルチャーセンター自主事業で、演劇集団「風」による【ヘレンケラー】の演劇鑑賞会には、午前・午後の2部公演で350名の参加があった。</p> <p>⑦ 平成27年度に続き、町内のコーラスグループの発表の場として、カルチャーセンターの自主事業で「みなかみ町合唱祭」を開催した。</p>
------------	---

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成30年度の取り組み方針(案)
	1 学習意欲の高揚	<p>① 生涯学習に意欲・関心のない町民に対し取組への意識付けが必要である。(30～40代)</p> <p>② 各種広報媒体を活用し、生涯学習に要する情報の提供や啓発が必要。</p>	<p>① 生涯学習フェスティバルの定着を図り、生涯学習の楽しさや必要性を啓発する。</p> <p>② 社会教育委員に意見を求め、興味・関心を引く教室や講座を企画し、多くの方に参加いただけるよう広報等により啓発活動を行う。</p>
	2 学習機会の充実	<p>① 町民のニーズに応じた学習の機会を増やしていく必要がある。</p> <p>② 自主的に学習活動するグループの活動を支援し、指導者の育成を図る必要がある。</p> <p>③ 文化協会加盟団体の中には高齢化が進み継続が困難な団体もあるなか、既存団体の活動支援を図る必要がある。</p>	<p>① 各種講座等の自主学習グループを支援する。</p> <p>② カルチャーセンターの自主事業を充実させるとともに、各団体と連携し文化振興を図る。</p> <p>③ 若山牧水顕彰短歌全国大会を関係部署と連携し実施する。</p>
	3 学習環境の整備	<p>① 町内4ヶ所の図書室と公民館会議室等の利便性と利用環境の改善</p> <p>② 施設の老朽化が目立ってきており、利用客の安全面を最優先した修繕が必要。</p>	<p>① 図書室の利便性の向上に向け、図書管理システムの導入に向けた取組を行う。</p> <p>② 施設の状況を的確に把握し、緊急性の高い箇所から修繕を継続する。</p>
4			

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	社会教育委員事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	210,812 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				町で社会教育環境を検討、向上を目的として活動する社会教育委員の支援を行う。	今年度町の図書環境についての提言書をまとめあげ、生涯学習フェスティバルについても主管団体として位置づけた			事業実績		
	基本事業	01	学習意欲の高揚								会議回数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											5	5	回

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	文化協会活動支援事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	802,000 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				町内文化団体で組織するみなかみ町文化協会事務を行うとともに文化振興の推進に寄与する団体・個人へ補助事業を行う。	様々な部門をまたいで各団体同士の連携を調整し、みなかみ町文化祭を実施した。			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								文化団体数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											68	64	団体

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	婦人会活動支援事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	1,288,000 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				婦人の地位向上に努め、豊かな人間性を培い、明るく誇りに貢献することを目的として、下記の事業を実施する。 ・学童を高い人間性を養うための事業 ・市民協賛事業、指導者研修会、研修視察、町議会傍聴 ・学校・家庭・地域社会への協力事業 ・みなかみ町花火大会協力、藤原湖マラソン協力、町民体育祭協力 ・健康づくり、婦人スポーツの振興事業 ・ハイキング、町・郡民ホールボール大会、健康づくり大会 ・会員相互の親睦を深める事業 ・レクリエーション、新年昼食会 ・総会・定例会	町の広報に開催行事の案内や結果報告等を掲載し、町内へ婦人会活動の周知を行っている。			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								会員数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											220	217	人

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	文化祭事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	301,258 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				みなかみ町文化祭はみなかみ町文化協会主催、みなかみ町教育委員会後援として開催している。基本的な経費は文化協会が負担するが、一部学童への参加賞など協会の負担が難しい部分を教育委員会が経費負担する。	文化協会加盟者は高齢者が多いため、文化祭と作業については教育委員会職員が代行して、無事文化祭を実施した。			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								出品者・出演者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
											2,620	2,647	人

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	おもしろ科学教室事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	21,774 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		子どもたちの「科学する心」を育むとともに、青少年の学校外活動の充実を図るため、科学実験・科学工作・野外観察などの体験活動を実施する。	今年度もサイエンスインストラクターの会員の方に協力をいただき、円滑に運営ができた。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				実施回数						
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H	~	年間								2	2	回
特に問題なく良い活動ができており、引き続きこの状態を維持していきたい。						特に問題なく良い活動ができており、関係機関との連携も良好なので、今後も継続していきたい。							

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	文化振興費補助金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	500,000 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		文化・社会教育の振興を図るため予算の範囲内で活動団体に対して補助金を交付する。社会教育委員で構成する審査会で交付の審査を実施する。	補助金申請事務等を補助しながら、7団体の文化振興事業へ補助金を支出した。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				交付件数						
根拠	有	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H	~	年間								7	7	件
様々な社会教育団体があるが中には補助金交付手続等の事務をほとんど行えない(できる人がいない)団体がある。しかし、事務担当者が一緒に申請書や報告書を作成してあげないと、結局、このような団体は活動できなくなってしまう。						高齢者が多い文化振興事業の中で、若い世代に、もっと事業のことを周知する必要がある。							

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	生涯学習フェスティバル事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	569,310 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		生涯学習に関連する気運向上を図り、関連団体の交流を促進する。	社会教育委員を主管団体にして広く協力者を募り、そうすることで事業周知も促進を図った。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				発表者数・参加者数						
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H	~	年間								30・160	50・250	人
どのような団体に協力を依頼していくか協力団体の選考が難しくなっている						事業を重ねていく中で、メニューを取捨選択しながら一層有意義な取り組みにしていきたい。							

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	生涯学習講座事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	246,697 円				
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		住民の生涯学習活動の入り口としての講座を開設する	毎回参加者アンケートを実施し、その中で住民ニーズを把握した。	事業実績						
	基本事業	02	学習機会の充実				講座回数・出席者数(延べ)						
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策				
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H	~	年間								11・360	10・255	
ニーズに基づきつつ、継続して学習できる環境があるメニューの選定に苦慮する						担当者を複数設けることで企画力の向上と負担の分散を図り、内容の充実を目指す。							

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	成人式事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	535,902 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								参加者数・新成人数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	予算が少ないため、選べる企画に限られる。予算を掛けず、なおかつ地元に着目を持ってもらうためにも、出来るだけ地元の人材を活用したい。			少子化の影響で対象者数は減少してきているが、出席率が高いのが現状である。一方で、今年度の藤原地区対象者は1名のみであり、参加をしても知り合いがいけないという理由で欠席となっていた事例もあり今後検討が必要である。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H 28 ~										182・233	187・230	人

平成 28 年 8 月 18 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000010	芸術のまちづくり実行委員会活動支援事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	615,374 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								ワークショップ開催回数		
根拠	無	組織	総合戦略	課	課長	宮崎 育雄	・展示場所及び展示作品の固定化。新規展示場所の開拓。 ・地域に密着した活動の充実。 ・解散したNPOに代わる協力者を見つける必要がある。 ・オブジェの收藏については、引き受けられないよう東京芸大に働きかける。			・湯宿温泉地区でのアートイベント開催→地域住民の協力を得る事が出来た。活動を行った学生との交流が深まった。学生の制作活動に良い影響を与えた。 ・展示作品の入れ替えと新規展示場所を探す。 ・傷んだ作品の修繕を行う。 ・学生達が活動できる新たな地域を開拓。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	7	項	2	目	2	平成27年度	平成28年度	単位
	H 28 ~	4									1	1	回

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000011	カルチャーセンター文化振興事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	2,336,957 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								振興事業実施回数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	町民の生涯学習に役立つ事業を、自主事業として開催し、生涯学習の推進・文化振興を図る。			運営委員会に諮って知恵を借る。また、打合せの日程等をこちらサイドから提案し、先回りするようにする。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	3	平成27年度	平成28年度	単位
	H 28 ~										2	2	回

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000012	牧水顕彰大会事業	① 事務事業の内容				③課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	59,620 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進				②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策			事業実績		
	基本事業	02	学習機会の充実								作品応募者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	杉木 隆司	平成28年度は牧水顕彰大会(宮崎県)を視察し、大会の内容を把握し、本町での大会実施を検討する。			実行委員会と綿密に連携して、他県での様々な事例を調査研究して、平成29年度の県大会、平成30年度の全国大会企画立案に役立てた。			
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	6	目	1	平成27年度	平成28年度	単位
	H 28 ~	30									0	0	人

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	利根沼田文化会館運営費負担事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	25,340,000 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		利根沼田地域の福祉の増進と文化の発展に寄与するため利根沼田広域市町村圏進行整備組合で設置した文化会館の維持管理に要する費用を圏域市町村で負担するもの。	来年度の全面改修工事に向けて、社会教育担当者研修会において館内施設を見学し実態を把握することができた。	事業実績				
	基本事業	03	学習環境の整備				施設利用者数				
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	10	6	建設当時と37年経過した現在とで利用実態が変わってきており、当初の費用負担が現状とマッチしているのか検証すべき。	来年度の全面改修工事の着工にあたり、カルチャーセンター等に利用客が分散することが推測されるため対応が必要となる。		81,928	85,341	人
	H	～	年間	会計	1	10	項	6	目	1	

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	中央公民館管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,898,230 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		中央公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。社会教育委員を含めた町内の様々な社会教育団体の事務局が置かれ、それぞれの事務を行う。	修繕箇所を発見した際には、業者に依頼し、見積・修繕対応を行った。また、利便性を考慮し、7月より土足での開放をした。	事業実績				
	基本事業	03	学習環境の整備				公民館利用者数				
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	10	6	他市町村の公民館利用状況を参考にして、利用料、受付方法等を検討していく。また、施設の老朽化により、修繕箇所が増加してきている。	施設の経年劣化により、修繕必要箇所が発生すると推測されるので、予算等支障のない範囲で検討・実行していく。		12,150	9,398	人
	H	～	年間	会計	1	10	項	6	目	2	

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	水上公民館管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	8,504,424 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		主に水上地区内の社会教育団体が社会教育活動を実施している水上公民館の管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。その他、一般町民が様々な会合を実施するために施設を利用する際に便宜を図る。	雨漏りなど、修繕が必要な場所についての予算化をした。	事業実績				
	基本事業	03	学習環境の整備				公民館利用者数				
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	10	6	施設の老朽化が目立ってきている。緊急避難場所に指定されていることもあり、注意が必要。	利用客の安全面等を考慮し、緊急性の高い修繕箇所については迅速な対応が必要となるので随時検討していきたい。		9,802	9,365	人
	H	～	年間	会計	1	10	項	6	目	2	

平成 28 年 7 月 5 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	カルチャーセンター管理運営事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	14,542,837 円		
施策体系	施策	27	生涯学習の推進		センターの施設・設備及び児童図書室の環境を整備し、文化活動・鑑賞等の場や機会の提供及び情報の発信等の各種サービスを行うことによって、芸術文化に親しんでもらうとともに、生涯学習の推進に取り組む。	ホール利用申請者との打合せを充実し、綿密に準備することにより円滑な利用を心掛けている。また、操作技術のマニュアル化や習熟に心掛けている。	事業実績				
	基本事業	03	学習環境の整備				施設の利用者数 ・施設の利用回数 (全施設利用団体の累計)				
根拠	無	組織	教育	課	課長	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	10	6	メディアの多様化などにより、文化会館・図書館の事業への期待感や要望が薄れている。また、利己的利用者の増加やニーズの多様化により、共有物・共用の時間帯としての意識が薄れている。館運営の財政的措置及び人的措置がなければ遂行できない。さらに、職員の休暇や勤務時間など独自の制度体系が必要である。	蔵書の充実、照明や音響の操作技術の習熟等利用者の要求に沿った予算計上や技術研修を進める。		38908 588	20190 697	人・回
	H	～	年間	会計	1	10	項	6	目	3	

27 生涯学習の推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007		水上中部コミュニティセンター管理事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	234,094 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			水上中部コミュニティセンターの管理運営を行い、社会教育の推進をはかる。			今年度の修繕必要箇所は見受けられなかったが、今後も注意が必要になる。			事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備									利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	課	10	施設の老朽化に注意が必要。施設は緊急避難場所になっている。			委託協定を結んでいる大穴地区老人会は活発にこの施設を活用している。今後も管理作業を委託し、より一層、施設を活用してもらう。			1,200	1,683	人
	H	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	3			

平成 28 年 7 月 9 日作成 (平成 29 年 3 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008		図書室運営事業			① 事務事業の内容			③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果			事業費	1,824,037 円	
施策体系	施策	27	生涯学習の推進			資料の購入・貸出・整理・保管・調査相談等の業務を行い、町民が教養及び知識を習得したり、生活に役立つ情報を得るための支援をする。又、子どもから高齢者まで幅広く利用できる環境のもとに、読書推進及び生涯学習活動の円滑化を図る。県図書館協会が主催する研修への参加及び県内の公共図書館との連携により、図書室活動の向上を図ると共に、相互貸借制度を活用して、利用者の要求に応じた資料提供を円滑に行う。			前年度実施した図書室利用に係る町民アンケート等の結果を踏まえて、社会教育委員会において、図書室の課題やあり方について継続審議を行っている。			事業実績		
	基本事業	03	学習環境の整備									図書室利用者数		
根拠	無	組織	教育	課	課長	② 事務事業の課題			④ 今後の方針・課題解決策			平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業		1	課	10	今後の図書室運営の方向性、電算システムの導入・維持にかかるコスト、統廃合した場合の各地域のサービス低下への対応策等について検討が必要と思われる。又、運営方法を見直した場合の予算・人員配置等が懸念される。			電算システム導入及びネットワーク化、施設の改善(書架の更新及び増設、学習スペースの確保、エアコンの設置等)、人員及び予算の確保等。			6,199	5,707	人
	H	28	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	5		

施策マネジメントシート(平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成 29 年 6 月 14 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課
施策	28	生涯スポーツの推進	関係課	課長 杉木 隆司

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図		
	①町民	①生涯を通じてスポーツや運動をする。		基本事業	1 スポーツ意欲の高揚	スポーツや運動に意欲や関心が無い人	スポーツや運動への意欲や関心を高める。
					2 スポーツ機会の充実	スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする機会を得られる。
					3 スポーツ環境の整備	スポーツや運動に取り組んでいる人、意欲や関心がある人	スポーツや運動をする場を確保できる。
					4		
					5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	実績値	
A	週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合	%	実績値	46.9	46.3	46.7	47.9	52.1	45.5	
				目標値		47.0	48.0	49.0	50.0	51.0
B	体育協会加盟競技団体登録者数	人	実績値	1,930	1,848	2,012	1,520	1,430	1,418	
				目標値		1,930	2,100	2,100	2,100	2,100
C	体育施設利用者数	人	実績値	130,362	137,209	131,180	132,267	116,994	119,086	
				目標値		135,000	110,000	135,000	140,000	145,000
D			実績値							
				目標値						
E			実績値							
				目標値						
F			実績値							
				目標値						

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
町民アンケートにより把握
※あなたはどの程度、運動・スポーツをしていますか。→「ほぼ毎日」、「週に1日以上」と回答した人の割合
運動とは、軽い体操や散歩などの身体活動
スポーツとは、ルールや決まりに基づいて活動する、陸上競技やサッカー、柔道や剣道など
生涯スポーツとは、子どもから高齢者まで生涯にわたって人生の各時期にそれぞれの興味関心や目的に応じて運動やスポーツに親しむこと。競技、レクリエーションとしてあるいは健康体力づくりとして様々な目的や楽しみ方がある。また、するだけでなく観る支える(応援・運営・教える)など様々な関わり方があります。
B) みなかみ町体育協会に加盟する団体のうち、各競技団体(20団体)に所属している会員数であり、数値が変わらずに推移すれば目標が達成できているといえるため成果指標とした。
C) 町内にある屋外と屋内の体育施設(学校体育施設の利用者数も含む)の1年間(4月から3月まで)の利用者数であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。

目標値設定の考え方

A) みなかみ町スポーツ推進計画(計画期間10年間)を平成24年度に策定。国・県の目標値は、それぞれ65%、55%としているが、都市部と比較して施設面での不利な状況を考慮すると、5年間で同水準をめざすことは困難。今後、少子化が急激に進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつあったり、人口減少により、団体競技の継続などが困難となっていることを考えると子どもの実施率は下がることが推測される。ただし、団塊の世代が退職を迎え、時間的な余裕が生まれる人がおり、こういった人々が取り組むことにより実施率は上昇する可能性がある。また、スポーツ吹き矢など新しい軽スポーツを取り入れており、これらは、高齢者でも一人でも参加できるスポーツで実施率が高まる可能性はある。
B) 体育協会加盟団体のうち、比較的、誰でも容易に取り組める競技に人気集中している。しかし、平成25年度から体育協会に加盟していた団体の中には会員数の減や高齢化に伴い休止、廃止したクラブが出てきた事により、目標値の2,100人を維持して行くには難しくなっている。
C) 健康志向の高まりで、個人でも気軽に取り組める軽スポーツなどにより体力の向上や健康維持に努める人が増えつつある。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①スポーツや運動の必要性を感じ、講座やイベント、団体・グループ活動に積極的に参加する。 ②スポーツや運動の楽しさを広め、仲間づくりを行うなど、普及啓発に取り組む。 ③指導者となり、さらには後継者を育成する。	①スポーツ教室や大会を開催するなど、スポーツや運動機会の提供や契機づけを行う。 ②体育施設の整備と管理運営を行い、スポーツを行うための場を提供する。 ③スポーツや運動を行う人・団体の活動を支援する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか？	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか？
	①少子化が進み、スポーツ少年団の維持が困難になりつつある。 ②人口が減ると、団体競技の継続などが困難となる。 ③スポーツ立国の実現を目指し、スポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ基本法が平成23年に施行された。この法律に基づき、町では平成25年度より、みなかみ町スポーツ推進計画に沿って推進していく。 ④健康志向の高まりにより、ウォーキングやランニングを行う人が増加傾向。 ⑤スポーツの振興、スポーツに関する施策の総合的な推進を図ることを目的として、2015年10月1日 文部科学省にスポーツ庁が設置された。	①老朽化の進む施設が多くあり、整備に関する要望に応え切れていない。(修繕や設備の機能向上など) ②施設予約については、観光目的の利用と町民の利用が重なることがあり、町民利用に制約が生じている。観光目的の利用予約は特に夏休みに集中している。観光専用の施設も必要ではないかという声もある。 町管理の施設の本体化や利用が少ない施設の見直しなどの要望がある。

施策	28	生涯スポーツの推進	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	<p>①「週に1回以上運動・スポーツをしている町民の割合」は、平成27年度52.1%と半数を超えたが、平成28年度は45.5%と6.6%の減少となった。年齢別に比較すると、特に20～49歳で平均17.3ポイント下降している。全ての年代で横ばいか、下降の状況にある。</p> <p>地区別にみると、月夜野地区は51.5%から46.0%、水上地区は49.6%から52.0%、新治地区は55.0%から40.0%となり昨年大きく上昇した新治地区は15.0ポイントと大幅に下降した。</p> <p>②体育協会の登録者数は、団体によっては、個人志向の強まりから競技団体を脱退する人を見受けられる。</p> <p>③体育施設の利用者数は、116,994人から119,086人となり、2,092人増加した。</p> <p>*登録者数・利用者数の減少は人口の高齢化・減少に大きく起因している。</p>
		② 他団体との比較	<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。
	③ 目標の達成状況		<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。
成果実績に対する総括	<p>①住民が活発にスポーツに親しみ、スポーツを通じて住民相互の和やかな人間関係の育成とコミュニケーションや連帯感の向上により、いきいきとした笑顔あふれるみなかみ町を創造するため、みなかみ町スポーツ推進計画により事業を推進した。</p> <p>②平成22年度に開設した緑地広場の人工芝ホッケー場の利用者数は、平成28年度も15,717人と多くの人に活用されている。これはグランドゴルフ協会の大会開催等による利用者増が要因として考えられる。</p> <p>③月夜野総合グラウンドの人工芝サッカー場は、多くの団体に活用されている。</p> <p>④各地区でスポーツ推進委員を活用し、軽スポーツ教室を開催した。また、月夜野体育協会では講習会や大会を、各地区体育委員会では自主イベントを開催した。</p> <p>⑤月夜野総合グラウンドサッカー場の照明灯7本をLEDに交換した。</p> <p>⑥平成29年度に月夜野中学校グラウンドに、ナイター設備を設置するための準備を行った。</p> <p>⑦地区スポーツを推進するため、水上地区体育委員を通じ各地区公民館にスポーツ吹き矢を1セットずつ配布し活用されている。</p> <p>⑧水上地区ではあるけあるけ大会、月夜野地区では史跡ウォーク、新治地区ではノルディックウォーク講習会を実施し3地区に軽スポーツを普及した。</p>		

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成30年度の取り組み方針(案)	
	1	スポーツ意欲の高揚	<p>①スポーツや運動に意欲や関心がない人に身体を動かす楽しさや必要性を理解してもらったり、スポーツや運動に取り組んでいる人には積極的な仲間づくりを推進する必要がある。</p> <p>②地域スポーツ活動の推進母体の育成。</p>	<p>①平成29年度に見直しを行ったみなかみ町スポーツ推進計画に則り、スポーツや運動・健康づくり等に関する教室及び講演会を実施する。</p>
	2	スポーツ機会の充実	<p>①子供から高齢者まで幅広い年齢層の人たちが、多種多様なスポーツに親しめるような機会の提供。</p> <p>②様々な競技の選手や指導者の確保・育成を支援し、団体競技の活性化を図る。</p>	<p>①各地区から選出された体育委員やスポーツ推進委員及び体育協会と連携しながら、誰もが気軽に取り組める軽スポーツ教室や各種大会を開催する。</p> <p>②みなかみ源流大学と連携を図り、科学的分野からスポーツを考え、競技者の支援を行う。</p> <p>③引き続き競技スポーツ優秀者を顕彰する。</p>
3	スポーツ環境の整備	<p>①身近な地域で安全にスポーツが行えるよう、維持管理や機能充実、利便性の向上を図りながら、有効利用を促進する。</p>	<p>①みなかみ町体育施設整備計画に基づき緊急性を勘案し、施設の整備を進める。</p> <p>②水銀灯の製造中止を鑑み、体育施設全般のLED化に向けた整備計画を策定する。</p> <p>③B&G海洋センターのつり天井の構造調査を行う。</p> <p>④各地区で軽スポーツ教室が手軽に出来るよう用具を整える。</p>	

28 生涯スポーツの推進

平成 28 年 7 月 7 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	スポーツ推進委員会事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,280,452 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		町におけるスポーツの推進に係る体制の整備を図るため、社会的信望があり、スポーツに関する深い関心と理解を有し、熱意と能力を有する者の中から、スポーツ推進委員を委嘱し、委嘱した町スポーツ推進委員会の事務局事業		地域スポーツ・生涯スポーツ発展のため、会議や年間の活動を通して意思統一を図った。		事業実績				
	基本事業	01	スポーツ意欲の高揚						活動回数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	7	目	1	34	34	回
根拠法令改正により、名称や責務が改められたことが委員の意識を変える一つのきっかけとなった。また、平成24年度に策定したスポーツ推進計画で、その職務や今後の方向性を明記できた。今後はそれに基づいて、委員が積極的に活動できる体制整備を同時に行っていく必要がある。													
各地域の体育委員等と協力し、地域スポーツや生涯スポーツの発展のため活動を推進する。													

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	スポーツ推進審議会運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		みなかみ町教育委員会の諮問に応じて、スポーツの推進に関する様々な問題や課題などを調査・審議して、教育委員会に建議する組織を運営する。				事業実績				
	基本事業	01	スポーツ意欲の高揚						会議の開催回数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	7	目	1	0	0	回
課題無し													
平成29年度にスポーツ推進計画の計画見直し予定													

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	体育協会活動支援事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	4,292,000 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		町民の体力の向上と親善・交流および社会体育の振興を図ることを目的としている任意団体の運営を事務局として支援する。体育協会登録会員は登録競技団体・スポーツ少年団。				事業実績				
	基本事業	02	スポーツ機会の充実						大会・教室等の事業数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	7	目	1	71	85	事業
課題なし													

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	スポーツ少年団活動支援事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	450,000 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		みなかみ町スポーツ少年団事務局業務また加盟する各スポーツ少年団の活動支援業務				事業実績				
	基本事業	02	スポーツ機会の充実						各スポーツ少年団参加児童数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業	年間	会計	1	款	10	項	7	目	1	479	438	人
スポーツ少年団に加盟する各団体によって、加盟する意図が異なっている。そのような事から全体としての活動が限られてしまっているのが現状である。学童の育成を行う上で町本部が存在する有効性を改めて周知し、全体の活動の活発化を模索する必要がある。													

28 生涯スポーツの推進

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	体育振興費補助金交付事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	1,521,200 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	事業を実施できる団体等の育成。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					申請(交付)件数		
根拠	有	組織	教育課	課長	杉木 隆司		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	7	目	1
	H	~	年間					0	3	件

平成 28 年 7 月 7 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	スポーツ教室事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	350,241 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	スポーツ機会の充実に資するためスポーツ教室を開催する。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					スポーツ教室開催回数		
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	7	目	1
	H	~	年間						1	回

平成 28 年 7 月 7 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	町民体育祭事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	2,695,572 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	町民相互の親睦と融和を深め、町民の体力向上と健康増進を図る為の町民体育祭実施	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					会議等開催回数		
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	7	目	1
	H	~	年間					5	5	回

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	プール開放事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	710,512 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	毎年、学校等の夏休み期間中に新治B&G海洋センタープール及び桃野小学校プールを開放し、安全で安心して水に親しむ場所を提供。	事業実績		
	基本事業	02	スポーツ機会の充実					利用者数・実施総日数		
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		平成27年度	平成28年度	単位	
事業期間	継続事業		会計	1	款	10	項	7	目	2
	H	~	年間					2216・66	1202・47	人・日

28 生涯スポーツの推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	総合体育館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	6,421,843 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績				
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設利用者数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		生涯学習推進 G		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	7	目	2	21,604	21,641	人
					みなかみ町月夜野地区の体育施設の拠点施設で、嘱託職員1名、臨時職員5名で日程調整をして、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出業務を行っている事業。								
					体育施設の用具更新を計画的に行う必要がある。また、新たな施設利用方法等の検討を進める必要がある。								

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	水上社会体育館管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	116,208 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績				
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設利用者数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		生涯学習推進 G		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	7	目	2	13,736	12,715	人
					みなかみ町水上地区の体育施設の拠点施設で、主に施設の受付予約・貸出・料金の徴収、用具等の貸出を行っている。施設の老朽化が進んでいるため、近年部分的に補修を行っている。施設の維持管理を行う事業								
					耐震調査での報告書について協議し、改修工事の検討		水上地区の体育施設の拠点なので、耐震改修について関係部署と連携し、方向性を決める必要がある。						

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	新治B&G海洋センター管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	6,752,346 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績				
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設利用者数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		生涯学習推進 G		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	7	目	2	13,764	12,104	人
					新治地区B&G海洋センターの管理運営業務								
					海洋センターならではの取り組みとして、水を通じた町民の健康増進支援、子供たちの学習や体験の支援といった事があげられるが、それを行うためには専属の育成士がおらず、また過去に育成士を取得した人材が全て他の部署に配属されてしまっている。また、海洋センターのプールが屋外プールであり夏以外には使用できないことも有効な役割を果たせない一因だと思われる。ただしそれらを改善するには莫大な費用と人員を要することから現状の施設でいかに独自の取り組みを行っていくかを模索する必要がある。		施設の老朽化と一部耐震改修の必要性がある箇所の修繕を計画する必要がある。						

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	体育施設管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	26,394,684 円				
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		事業実績				
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設利用者数				
根拠	無	組織	教育課	課長	杉木 隆司		生涯学習推進 G		平成27年度	平成28年度	単位		
事業期間	継続事業 H ~ 年間		会計	1	款	10	項	7	目	2	117,005	119,086	人
					緑地広場ホッケー場、北部グラウンド、南部グラウンド、大中島運動公園テニスコート、月夜野総合体育館、名胡桃体育館、南部体育館、北部体育館、月夜野弓道場、大穴多目的広場、湯原多目的広場、水上社会体育館、新治武道場、入須川社会体育館、新治B&G海洋センター、新治中央運動公園(野球場・多目的広場・ゲートボール場・テニスコート)等の社会体育施設の維持管理を行う事業								
					関係者への説明・理解		照明器具の水銀灯が2020年で国内製造禁止。輸入禁止になることから順次LED化を進めないと間に合わなくなるため順番を決めて改修を計画する。						

28 生涯スポーツの推進

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	大中島公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	903,547 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		大中島公園内におけるテニスコートなどの施設の維持、保全管理についての事業である。		経常的な維持管理の予算を計上満額確保された。		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数			
根拠	有組織	地域整備	課	課長	上田 宜実	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
						都市計画	G	予算の確保 行政評価担当課の柔軟な対応が課題				
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	4	1	2	件

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000007	湯捨曾公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	568,580 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		湯捨曾公園内における多目的広場やテニスコート及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。今年度は、公園管理棟の借地料として毎年915千円計上していた経費を群馬県と昨年度より相談した結果、払い下げを受けることとなった。これ以降の計上経費の削減が図られた。		経常的な維持管理の予算を計上満額確保された。		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数			
根拠	有組織	地域整備	課	課長	上田 宜実	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
						都市計画	G	予算の確保 行政評価担当課の柔軟な対応が課題 誘客とともに利用料金の変更(町民を含む)も考え指定管理料の削減を進めている。				
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	4	4	3	件

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000008	寺間運動公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	367,200 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		公園内における野球場・サッカー場及びトイレなどの施設の維持、保全管理についての事業である。		経常的な維持管理の予算を計上満額確保された。		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数			
根拠	有組織	地域整備	課	課長	上田 宜実	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
						都市計画	G	予算の確保 行政評価担当課の柔軟な対応が課題				
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	4	2	0	件

平成 28 年 7 月 11 日作成 (平成 28 年 月 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000009	総合公園管理運営事業		① 事務事業の内容		③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円			
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進		総合公園施設(バラ園・緑地広場など)の維持、保全管理についての事業である。		経常的な維持管理の予算を計上満額確保された。		事業実績			
	基本事業	03	スポーツ環境の整備						施設維持管理上の不具合・トラブル発生(対処)件数			
根拠	有組織	地域整備	課	課長	上田 宜実	② 事務事業の課題		④ 今後の方針・課題解決策		平成27年度	平成28年度	単位
						都市計画	G	予算の確保 行政評価担当課の柔軟な対応が課題				
事業期間	継続事業	会計	1	款	8	項	4	目	4	2	0	件

28 生涯スポーツの推進

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000011	月夜野総合グラウンドサッカー場整備事業						① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	147,734,848 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進						月夜野総合グラウンドサッカー場の照明灯を交換する事業。		事業実績	
	基本事業	03	スポーツ環境の整備								課題なし	④ 今後の方針・課題解決策
根拠	無	組織	教育課	課	課長	杉木 隆司		課題なし	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度		
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	10	項	7			目	2	0
H 28 ~ 28 年間												

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 3 月 30 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000013	月夜野中学校ナイター設備設置事業						① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,752,000 円	
施策体系	施策	28	生涯スポーツの推進						月夜野中学校のグラウンドにナイター設備を設置する事業。		事業実績	
	基本事業	03	スポーツ環境の整備								課題なし	④ 今後の方針・課題解決策
根拠	無	組織	教育課	課	課長	杉木 隆司		課題なし	④ 今後の方針・課題解決策	平成27年度		
事業期間	期間限定事業	会計	1	款	10	項	7			目	2	
H 28 ~ 29 年間												

施策マネジメントシート(平成28年度の振り返り、総括)

作成日 平成 29 年 6 月 14 日

基本目標	V	豊かな心と文化を育むまち	主管課	名称 教育課 課長 杉木 隆司
施策	29	文化財の保存と活用	関係課	

施策の目的	対象	意図	基本事業名	対象	意図	
						1
①町民 ②町内の文化財		①文化財に対する意識を高め、保護や継承を行う。 ②適切に保護され、後世へ継承される。	基本事業	1 文化財の保存	保護や継承に取り組んでいる人 町内の文化財	保護や継承に積極的に取り組める。 適切に保護され、後世へ継承される。
				2 文化財の活用	町民	文化財に関心を持ち、重要性を知る。
				3		
				4		
				5		

成果指標	成果指標名	単位	区分	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
				A	文化財の保護活動参加者数	人	実績値	320	303	565
			目標値	320	320	320	320	320	320	320
B	地域の伝統芸能に参加している町民の割合	%	実績値	10.7	11.1	8.3	8.5	9.2	8.5	
			目標値	10.8	10.8	11.0	11.2	11.4	11.6	11.8
C	保護・継承されている指定文化財の数	件	実績値	96	96	98	97	102	102	
			目標値	97	97	98	98	99	99	100
D	地域で継承されている伝統芸能の数	件	実績値	30	30	30	30	30	30	
			目標値	30	30	30	30	30	30	30
E			実績値							
			目標値							
F			実績値							
			目標値							

指標設定の考え方と実績値の把握方法

A) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保護活動に対する謝礼を支払う際に年間の活動実績を調査指定文化財で維持管理に経費の生じるもの(指定文化財全体の約4割)については管理者に対して実績報告に基づき謝金(5,000円～10,000円)を支払っている。
 B) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 町民アンケートにより把握
 ※あなたは日頃、文化芸術に触れ親しんでいますか。→「地域の伝統芸能(祭りや神楽、獅子舞など)に参加する」と回答した人の割合
 C) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課で実数を把握
 D) 直接的な設問であり、数値が高まれば目的が達成できているといえるため成果指標とした。
 主管課が毎年保存会等代表者に直接聞き取り調査を実施

目標値設定の考え方

A) 地区や神社の役員などがこれに当たるが、年々減少の傾向にあり、成り行き値は2年ごとに5人ほど減少すると予想される。文化財の啓発普及活動を活発にするなど郷土愛とともに地元の文化財を自分たちで保護するという考え方を広める工夫を行うことなどにより現状を維持する。
 B) 伝統芸能の本来の意味に賛同し、継承に新たに係わってくれる人を確保するのは困難であり、高齢化が進行するため、伝統芸能の保護継承に携われる人が徐々に減少するのではないかと。
 C) 今後、指定文化財として指定される可能性のあるものが数件ある。文化財保護委員の活動が活発であり、増加する可能性が高い。2年に1件のペースで増やし、平成29年度に100件をめざす。【沼田市:91件(H28)、片品村:65件(H28)、川場村:10件(H28)、昭和村:21件(H28)】
 D) 現在のところ教育委員会で把握している地域の伝統芸能(太々神楽、獅子舞など)は30件である。いずれも人員・予算的にギリギリの状態であるが、参加者を地元以外からも募集するなど様々な工夫をこらして継承している。多少なりとも教育委員会として応援し、現状を維持することを目標とする。

施策のための役割・目標達成	1. 町民(事業所、地域、団体)の役割	2. 行政(町、県、国)の役割
	①身近にある地域文化や文化財に関心を持ち、その重要性を認識するとともに、保護・啓発に努める。 ②地域の伝統行事に積極的に参加し、後世に継承する。 ③保護行政の理解・協力を努める。	①文化財に関する情報を発信するなど、町民の意識啓発を行い、郷土や歴史への認識を深める。 ②建物・史跡・美術工芸・天然記念物等の有形文化財を調査し保護管理する。 ③文化財の保護活動や後継者の育成を支援するなど、地域文化の継承を推進する。

施策を取り巻く状況	1. 施策を取り巻く状況(対象や法令等)は今後どのように変化するか?	2. 施策に対して、住民や議会からどんな意見や要望が寄せられているか?
	①文化庁は従来文化財の保護を重視してきたが、最近では活用にも力を入れ始めている。しかし、観光目的重視というわけではなく、あくまでも文化財保護をクリアしたうえで観光等に活用するという考え方である。 ②町文化財調査委員は意欲的であり、新しい指定文化財が増えていくと考えられる。 ③人口減少や少子高齢化により、伝統芸能の継承者が減少。後継者育成が困難な状態になる。	①文化財等の保存意識の強い住民から、伝統行事の衣装や備品、文化財の修繕に関する要望が多い。 ②文化財の公開の仕方を考えてほしい。特に名胡桃城址や矢瀬遺跡。 ③予算的な措置と合わせて後継者の募集なども協力して欲しいとの要望がある。

施策	29	文化財の保存と活用	主管課	名称	教育課
				課長	杉木 隆司

施策の成果水準の分析と背景・要因の考察	実績比較		背景・要因
	① 時系列比較	<input type="checkbox"/> かなり向上した。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば向上した。 <input checked="" type="checkbox"/> ほとんど変わらない。(横ばい状態) <input type="checkbox"/> どちらかといえば低下した。 <input type="checkbox"/> かなり低下した。	①文化財の保護活動参加者は平成27年度に実績値の算定値を精査した結果795人に急増したが、平成28年度は672人となった。しかし参加者数は高い数値を維持している ②地域の伝統芸能へ参加している町民の割合は、目標値には達していないが、年々微増の状況にあった。しかし本年度は、26年度の数値に後退した。 ③指定文化財数は、昨年と変わらず102件だった。 ④地域で継承されている伝統芸能の数は、ここ数年変化はなく30件を維持している。
		<input type="checkbox"/> かなり高い水準である。 <input checked="" type="checkbox"/> どちらかといえば高い水準である。 <input type="checkbox"/> ほぼ同水準である。 <input type="checkbox"/> どちらかといえば低い水準である。 <input type="checkbox"/> かなり低い水準である。	①近隣自治体と比較して、指定文化財の数は多い。要因として町民の歴史に対する意識が高いことも考えられる(実際に歴史的遺産を文化財指定するかしないかは文化財調査委員や教育委員会が判断)が、一般的に街道沿いには文化財が多いことから、三国街道があったことが大きな要因と思われる。 ※平成28年4月1日現在の各市町村の指定文化財数 みなかみ町 国：8 県：21 町：73 計：102 沼田市 国：3 県：14 市：74 計：91 片品村 国：3 県：7 村：55 計：65 川場村 国：1 県：4 村：5 計：10 昭和村 国：0 県：2 村：19 計：21
	③ 目標の達成状況	<input type="checkbox"/> 目標値を大きく上回った。 <input checked="" type="checkbox"/> 目標値を多少上回った。 <input type="checkbox"/> ほぼ目標値どおりの成果であった。 <input type="checkbox"/> 目標値を多少下回った。 <input type="checkbox"/> 目標値を大きく下回った。	①文化財の保護活動参加者数 平成27年度と比較すると減少はしているが、依然目標値は大きく上回った。文化財保護活動の大切さについて、周知を継続していることで、関係者の取り組み意欲が維持されているためと考える。 ②地域の伝統芸能に参加している町民の割合 目標値を下回った。人口減少にも関連していると思われるが、地域の行事等には気軽に参加できるが、伝統芸能となると敷居が高く限られた人の活動という意識があり、目頃から親しむという感覚はないのではないかと考えられる。 ③保護・継承されている指定文化財の数 目標値99件に対して現時点で、102件である。当初の目標であった2年に1件を指定して、平成29年度までに指定文化財を100件とすることを目標としていたが、既にこの目標は達成できている。 ④地域で継承されている伝統芸能の数 目標値どおりだった。しかし、予断はできず人口の高齢化・減少を起因として、地域に伝わる神社行事などの伝統芸能が衰退・無くなってしまふ恐れは依然として残っている。
成果実績に対する総括	① 指定文化財および伝統芸能の数については目標どおりである。重要文化財や史跡、天然記念物など物件としての文化財は残りやすいが、伝統芸能など無形文化財等はそれに関わる人がいなくなると消滅するおそれがある。現在、指定文化財に関しては所有者・管理者に対して管理状況等を調査し、それに対して文化財管理謝金を支払う措置を施すことによって文化財の保護・継承に努めている。 ②平成26～28年度の3カ年で矢瀬遺跡保存修復事業を予定通り完了し、史跡公園全体がリニューアルした。 ③水上石器時代住居跡調査事業の結果に基づき、国指定範囲を拡張した。 ④平成29年3月付けで、羽場日枝神社の獅子舞が町→県指定文化財に格上げとなった。		

今後の課題と取り組み方針(案)	基本事業名	今後の課題	平成30年度の取り組み方針(案)
	1 文化財の保存	①指定文化財の老朽化が目立ち、修繕が必要。 ②専門性が要求される事業で、特定の職員の負担が大きくなり一般文化財の保存に十分対応できなくなっている。 ③伝統文化の後継者育成が急務の課題である。	①専門家の調査において、早急な修繕が必要となっている国指定・旧戸部家住宅のかやぶき屋根修復作業を行う。 ②専門的知識を持った職員の採用を含め検討したい。 ③伝統文化の保存・継承に向けた支援・助言を行う。
	2 文化財の活用	①平成28年で矢瀬遺跡保存修復事業が完了した。今後は矢瀬遺跡を含め、文化財の活用が求められる。 ②町内5ヶ所の資料館は文化財の啓発普及に大きくつながるが、入館者数については横ばいの状態であるため、地元団体等との連携を含め、見学者を増やす取組が必要。	①町の歴史ガイドや、関係部署等と連携し、文化財を活用した事業の展開をはかり、観光資源としての活用を進める。 ②資料館を、有効的に活用するための展示内容や運営方法を検討し資料館としての質を高める。 ③町内の学校や町民に、町で作成したパンフレットや資料の利用を促し、町内文化財への関心と、学習教材としての活用を推進する。
	3		
4			

29 文化財の保存と活用

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	国指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	149,224 円		
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも国指定文化財に限定した管理事業。現在、8件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、国指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は雲越家住宅の現地説明資料に中之条町旧富澤家住宅の方法を取り入れた。	事業実績				
	基本事業	01	文化財の保存				主な文化財の見学者数(雲越家住宅・旧戸部家住宅)				
根拠	無	組織	教育課	生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	4
							担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。また、矢瀬遺跡は国庫補助事業により大規模な原状復旧作業を行う必要がある。		矢瀬遺跡の表示方法についてわかりづらいという意見を多方面から指摘されている。町外と同様な史跡公園を参考にして改良していきたい。		
							平成27年度	平成28年度	単位		
							1,764	1,445	人		

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	県指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	844,336 円		
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも県指定文化財に限定した管理事業。現在、22件の県指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。なお、平成22年度より名胡桃城址保存整備委員会を設立。今後、名胡桃城址の保存管理計画を策定すると同時に史跡整備を行っていく。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、県指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は旧足利学校の事例を参考に猿ヶ京開所跡で毎年10万円分の差茅修繕を行う計画をたてた。	事業実績				
	基本事業	01	文化財の保存				主な文化財の見学者数(名胡桃城址)				
根拠	無	組織	教育課	生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	4
							担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。		平成29年3月付けで羽場日枝神社の獅子舞が県指定に格上げされた。今後は古馬牧の人形浄瑠璃同様に対外的な公演補助や財政的な補助をしていく。		
							平成27年度	平成28年度	単位		
							10,867	67,141	人		

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	町指定文化財管理事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	237,800 円		
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		文化財保護事業の中でも町指定文化財に限定した管理事業。現在、66件のみなかみ町指定文化財があり、主に草刈り、清掃等の環境整備を行っている。毎年、県から依頼される「地方文化行政状況調査」、「特別地方交付税算定調査」等で国、県、町指定文化財それぞれの経費をあげなければならないため、国、県、町で分けなければならない。	町外文化財に対する積極的な視察・研修を行い、町指定文化財の保護管理業務の参考とした。今年度は町外の山城を参考に小川城址パンフレット作成に取り組み、下書きまで作成した。	事業実績				
	基本事業	01	文化財の保存				月夜野郷土歴史資料館見学者数(町指定文化財を展示している)				
根拠	無	組織	教育課	生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	4
							担当者の専門性が要求される。そのため、調査、研究をしていく必要がある。		指定文化財でも小川城址のようにパンフレットがない史跡がいくつかある。見学者からの要望があることからすべての史跡でパンフレットを作成していく。		
							平成27年度	平成28年度	単位		
							433	260	人		

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	埋蔵文化財調査事業		① 事務事業の内容		③課題解決のため取り組んだ事、その結果		事業費	0 円		
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用		埋蔵文化財包蔵地で開発が行われ、それに伴い発掘調査が行われる場合に必要事業。したがって、普段は行わない事業であり、当初予算も計上していない。なお、町村合併後の実績はほとんどなく、年間1件程度の試掘調査だけである。ただし、このほか平成25年度から平成27年度までの3ヶ年計画で、国史跡水上石器時代住居跡の遺跡範囲確認調査を実施する。	県文化財保護課が行った試掘調査の立ち会いをさせていただき、現場での調査要領等を視察した。	事業実績				
	基本事業	01	文化財の保存				埋蔵文化財包蔵地確認(照会)				
根拠	無	組織	教育課	生涯学習推進 G	課長	杉木 隆司	②事務事業の課題		④今後の方針・課題解決策		
事業期間	継続事業	～	年間	会計	1	款	10	項	6	目	4
							いつ、調査が必要になるかわからないため、常に調査研究を行い準備しておく必要がある。また、出土遺物を資料館等で展示しなければならない。		きわめて専門性の高い発掘調査が主な業務となるため、常に調査研究を行っていく。		
							平成27年度	平成28年度	単位		
							30	36	件		

29 文化財の保存と活用

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	文化財調査委員会事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	548,021 円
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用	文化財調査委員を招集し、文化財の保護と啓発普及のために調査委員と連携して文化財全般に関する調査研究を行う。	調査委員から指摘されていた新治地区中世城郭を文化財指定するため、類似史跡の視察・研究を継続した。これに基づき猿ヶ京城址に関する諮問・答申を行えた。	事業実績
基本事業	01	文化財の保存	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	資料館(月夜野・水上・雲越)見学者数	
根拠	無	組織	教育 課 課長 杉木 隆司 生涯学習推進 G	担当者の専門性を高める。	継続して中世城郭の新たな文化財指定、またはすでに指定されている城郭の調査研究を行い、啓発普及に努める。	平成27年度 平成28年度 単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款 10 項 6 目 4			2,197 1,705 人

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	矢瀬遺跡保存修復事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	16,468,493 円
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用	平成10~12年度に建設した矢瀬遺跡復元施設の老朽箇所を国庫補助事業により修繕。 平成26年度 1号住居、9号住居、高床建物、半截材方形木柱列 平成27年度 7号住居(四隅袖付炉の館)、16号住居、園路内木材チップ、屋外消火栓覆屋 平成28年度 水場遺構、祭壇遺構	工事中は毎週、設計業者・施工業者同席の打合せ会議を綿密に行い、工事はすべて予定通り完了し、工事報告書も刊行できた。	事業実績
基本事業	01	文化財の保存	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	工事検査引渡事務	
根拠	有	組織	教育 課 課長 杉木 隆司 生涯学習推進 G	現状通り設計業者および施工業者との連携を密に行う。	平成28年度で終了	平成27年度 平成28年度 単位
事業期間	継続事業 H 26 ~ 3 年間	会計	1 款 10 項 6 目 4			2 1 回

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000001	月夜野郷土歴史資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	2,115,208 円
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用	月夜野郷土歴史資料館の管理運営	地元の町組より活用促進を求める請願が提出され、議会でも検討されている。	事業実績
基本事業	02	文化財の活用	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠	無	組織	教育 課 課長 杉木 隆司 生涯学習推進 G	撤去費用が高額であり、その計上方法を検討しなければならない。	関係部署、地元団体等と連携し、見学者が増加するよう工夫をしていく。	平成27年度 平成28年度 単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款 10 項 6 目 3			433 260 人

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000002	水上歴史民俗資料館管理運営事業	① 事務事業の内容	③ 課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	4,851 円
施策体系	施策	29	文化財の保存と活用	水上歴史民俗資料館の管理運営	数百点にわたる展示物のキャプションを書き換えて新しくした。また、大型の年表も新たに作成した。	事業実績
基本事業	02	文化財の活用	② 事務事業の課題	④ 今後の方針・課題解決策	来館者数	
根拠	無	組織	教育 課 課長 杉木 隆司 生涯学習推進 G	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門との連携、より一層の展示内容の工夫が必要。	展示物自体を見直し、テーマをもった資料館展示に変えていく必要があり、調査研究を継続していく。	平成27年度 平成28年度 単位
事業期間	継続事業 H ~ 年間	会計	1 款 10 項 6 目 3			1,147 986 人

29 文化財の保存と活用

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000003	雲越家住宅資料館管理運営事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	559,544 円	
施策体系	施策	29 文化財の保存と活用	雲越家住宅資料館の管理運営	みなかみ町教育旅行者と連携して団体客の入り込みを行った。	事業実績		
基本事業	02 文化財の活用	来館者数					
根拠	無	組織	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	教育 課	地域住民の協力と観光部局との連携	地元、観光関係者等と連携して団体を中心に見学者を増やしていく。	617	459	人
	H ~ 年間	生涯学習推進 G	課長 杉木 隆司				
		会計					
		1 款					
		10 項					
		6 目					
		3					

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000004	永井宿郷土館管理運営事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	500,000 円	
施策体系	施策	29 文化財の保存と活用	予算上は郷土歴史資料館等管理運営事業に統合している。	指定管理事務を行い、地元永井区に管理全般を委託した。	事業実績		
基本事業	02 文化財の活用	来館者数					
根拠	無	組織	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	教育 課	指定管理しているため、基本的には展示内容等を含め永井区に委託している。	管理は永井区に委託できるが、他の資料館と同様に調査研究を行ったうえで資料館としての質を高めていく必要がある。	500	511	人
	H ~ 年間	生涯学習推進 G	課長 杉木 隆司				
		会計					
		1 款					
		10 項					
		6 目					
		3					

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000005	県博物館連絡協議会参画事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	10,000 円	
施策体系	施策	29 文化財の保存と活用	群馬県内における公設・私設資料館および美術館等の連絡協議会事務。	できる限り総会・研修会等に積極的に参加することにより、他の資料館等と連絡調整体制を維持した。	事業実績		
基本事業	02 文化財の活用	入館者数					
根拠	無	組織	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	教育 課	専門的な学芸員(資料館・博物館専門員)がいないため、この業務を専属でできる職員がいない。	資料館の質を高めるためにも連絡協議会主催事業にできる限り参加する。	433	260	人
	H ~ 年間	生涯学習推進 G	課長 杉木 隆司				
		会計					
		1 款					
		10 項					
		6 目					
		3					

平成 28 年 7 月 8 日作成 (平成 29 年 5 月 31 日更新)

H29/08/24確定

事務事業	000006	猿ヶ京関所資料館管理運営事業	①事務事業の内容	③課題解決のため取り組んだ事、その結果	事業費	1,056,000 円	
施策体系	施策	29 文化財の保存と活用	猿ヶ京関所資料館の管理運営	猿ヶ京温泉地区活性化委員会に参加して、地元における猿ヶ京関所跡の位置づけを確認するとともに今後の活用計画(資料館として一般公開を行う事等)を周知した。	事業実績		
基本事業	02 文化財の活用	入館者数					
根拠	無	組織	②事務事業の課題	④今後の方針・課題解決策	平成27年度	平成28年度	単位
事業期間	継続事業	教育 課	専門分野に関わることであり、担当者による研究が必要。また、観光部門と提携することにより一層の展示内容の工夫が必要。	展示キャプション等が古く、新しいものに書き換える必要がある。	2019	1316	人
	H ~ 年間	生涯学習推進 G	課長 杉木 隆司				
		会計					
		1 款					
		10 項					
		6 目					
		3					

5. 学識経験者の意見等

1. 学校教育関係

【学校教育の充実】

『学力テストの結果』は、小学生・中学生ともに前年度と比較すると1ポイント上がっており比較的高い水準にある。特別な支援を必要とする児童生徒への指導や各学校の実態に応じた少人数指導等を行うなど、児童生徒一人一人に寄り添い確かな学力が付いていると考える。高い水準を保つため教育補助員事業の継続をお願いしたい。

『体力テストの結果』は、平成28年度の調査によれば、全国平均と同水準である。学校保健委員会等を中心に朝活動など行い、体力の向上に努めてほしい。

『学校が楽しいと感じている児童生徒の割合』は、昨年度と同水準で推移している。水準を上げるため個々に応じたきめ細かな指導を重ね、豊かな心・高い知性・健康な身体とバランスの取れた指導を期待します。

『不登校児童生徒数』は、平成25年度は12名が26年度は17名、27年度は21名と増加傾向であったが今年度は18名と昨年度より3名減少した。不登校児童生徒への適用指導教室「リーエントリールーム」の充実に努め、学校、家庭、各機関によるより密なる連携をお願いしたい。

『小中学校研究会「三国会」事業』は、みなかみ町で生まれ育った子どもたちの教育環境整備を考え、地域の特性を生かし（スキー教室、谷川岳の登山など）充実した教育研究の取組・活動をお願いしたい。

『中学生海外派遣事業』は、中学生に国際的な視野を広げるため、みなかみ町の良さを再確認できる充実した事業なので継続していただきたい。しかし、教育委員会でタイ・カンボジアと台南と年間2回の海外派遣事業を行っているが、研修先・実施時期・参加学年・参加基準等の見直しを必要があると思う。

『家庭教育支援事業』は、就学時健診時で行っている「子育て講座」の充実を図るため、参加者のニーズを的確にとらえ、不安の解消など家庭教育のカウンセリング的な学習機会の提供に努めてほしい。

『キャリア教育実践研究事業』は、進路指導の内に入り、就職・職業をめぐる環境が変化している中、児童生徒の将来や人生に関わることなので、今後も継続し進めていただきたい。

『給食センター管理運営事業』は、食物アレルギーの児童生徒の数が年々増えており、学校給食における食物アレルギー対策は学校の重要課題の一つである。食物アレルギーを有する児童生徒の増加・複雑に伴い、個別的な取組を行っていただいているが十分な安全確保ができない危険性もあり心配である。給食センター、学校及び保護者との連携を密にし、未然に事故を防止するとともに、食物アレルギーのチラシ等を作成し、取組の強化をお願いしたい。年2回実施している「お弁当の日」は食育の推進にもなっているので、継続していただきたい。

『学校統廃合』は、平成28年度に「少子化に対応した活力ある学校づくり検討委員会」から議論を経てまもなく提言が提出される。その提言を踏まえ、より良い教育政策をお願いしたい。

今後は、児童生徒のすこやかな成長と、生きる喜びに満ちた心豊かな人間性を育む教育環境の更なる充実を図りながら、みなかみ町教育行政方針に沿った学校教育の充実、教育環境の整備、生涯学習の推進、文化財の保護活動及び生涯スポーツの推進に努めて欲しいと切に願うものです。

2. 生涯学習関係

【生涯学習の推進】

『日頃から生涯学習を行っている町民の割合』を前年度と比較すると若干ではあるが増加した。40歳から60歳の割合は増加に転じているが、30歳から40歳台の割合が低い。若い世代のアンケート結果等の分析を行い、学習機会の整備拡充を図るとともに、生涯学習に対するニーズを的確に把握し、誰もが参加しやすく、継続的に学習できる環境整備と意識付けが必要である。

『文化協会加盟団体登録者数』がわずかであるが減少したことは憂慮すべき状況である。また、会員の高齢化等により、活動が困難になる団体が増えてきていることも考慮する必要がある。少子高齢化や地域のコミュニティー力が低下している中、改善に向けた対策は難しい面が見られるが、団体の若返りや加入者の増員が図れるよう、加盟文化団体の活動内容等を積極的に広報するなどの取り組みを期待したい。

『生涯学習施設利用者数』は人口の減少や各地域にあった公民館が、地区公民館としての機能がなくなり、利用者の減少が続いていることは憂慮すべき状況である。施設設備の老朽化の改善、バリアフリー化、駐車場の整備の遅れも一要因である。町民の利用しやすい施設を目指した環境改善に向けた取り組みを促進する必要がある。また、町民のニーズに応じた各種の教室や講座を開設して、学習機会を提供するとともに、学習グループ及び自主サークル活動への積極的な支援を行っていくことを期待したい。

今後は、町民への生涯学習の必要性の啓発を積極的に進めるとともに、参加しやすい事業・講座の実施、それぞれの図書室と連携し、本の貸し借りを可能にするシステムの構築や生涯学習施設設備の老朽化対策など、生涯を通じて自主的に学習できるみなかみ町を目指して、学習環境の整備・充実に重点を置いた施策の実施を期待したい。

【生涯スポーツの推進】

『週1回以上、スポーツや運動をしている町民の割合』が減少したことは憂慮すべき状況である。特に20歳から49歳で降下している。減少した要因を精査するとともに、スポーツ情報の提供・発信の充実に努めるとともに、運動に意欲や関心がない人に身体を動かす楽しさや必要性を理解してもらう施策の実施が必要である。また、スポーツや運動に取り組んでいる人には積極

的な仲間づくりを促していく人的・物的・財政的支援を期待したい。

『**体育協会加盟競技団体登録者数**』の減少に歯止めがかかっていないのは憂慮すべきことである。人口減少、少子高齢化、個人志向の強まりから団体から脱退するなどの理由が考えられるが、町民の運動に関する興味関心は高いと思われる。指導者の資質の向上や軽スポーツ教室の積極的な推進を図るなど、生涯スポーツの推進に向けた取り組みを強化する必要がある。若年層から高齢者まで誰もが、いつでもどこでもスポーツや運動をすることができる環境づくりを期待したい。

『**体育施設利用者数**』が増加傾向にあるのは良い傾向である。身近な地域で安全にスポーツが行えるよう、施設の適切な維持管理や機能充実、利便性の向上を図りながら、更なる有効利用の促進を期待したい。

今後は、一般町民のスポーツに係わる興味関心の把握を進めるとともに、体育施設設備の改善充実や老朽化の改善、スポーツ教室の開設などに向けた積極的な取り組みを期待したい。

【文化財の保存と活用】

『**文化財の保護活動参加者数**』が減少したことは憂慮すべき状況であるが、目標値は大きく上回っている。町民の文化財保護に関する興味関心は強いと思われる。今後もこの状況が継続するよう文化財保護活動の大切さについて周知を図り、より積極的に事業を推進していく必要がある。町民の興味関心がより一層広まり、文化財に親しめる施策の実施を期待したい。

『**地域の伝統芸能に参加している町民の割合**』が減少したことは憂慮すべき状況である。少子高齢化、人口減少が影響していると考えられる。組織的な取り組みを進める困難さはあると思うが、地域や学校で伝統芸能教室を開催し、身近に感じられ、親しみのもてる学習の場を提供するなどして、普及・啓発活動を積極的に進める必要がある。

町の伝統芸能を一堂に集め町民に披露する場や町民全体で伝統芸能を保護・保全していこうとする気運を高める施策を期待したい。

『**保護・継承されている指定文化財の数**』が指定及び登録文化財総数102件で既に目標値を上回っていることは良いことである。継続して文化財の保護・保全に努めていく必要がある。

また、矢瀬遺跡や名胡桃城社、三国街道などの知名度の高い場所の保護は、関係機関と調整を行い整備・維持管理を進めて行く必要がある。

『地域で継承されている伝統芸能の数』は変化が見られない。人口減少・高齢化に伴い組織の編制や継承に困難も見られ、伝統芸能が衰退し無くなってしまわないよう、教育委員会や地域住民が連携して編制・継承できるような積極的な支援をしていく必要がある。地域の伝統芸能が途切れることなく後世へ引き継がれていくことを期待したい。

今後は、町民の文化財の保護と活用に係わる意識の高揚、保護・継承に向けた啓発・普及活動、文化財の調査研究・保護保全活動を積極的に推進するとともに、観光ガイドの育成や教育委員会担当者の専門性の育成を計画的に推進していくことを期待したい。

教育委員会の点検・評価報告書

(平成28年度事業対象)

平成29年12月発行

編集・発行 みなかみ町教育委員会
〒379-1393
群馬県利根郡みなかみ町後閑318番地
TEL0278-62-2275

